

授業科目名： 子どもと健康	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2 単位	担当教員名： 佐藤 菜美
			担当形態：単独
科 目	領域及び保育内容の指導法に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	領域に関する専門的事項 ・ 健康		
授業のテーマ及び到達目標			
1．幼稚園教育要領・保育所保育指針等をもとに、「健康」領域における目標及び内容を説明できる。			
2．現代の健康問題と子どもの健康をめぐる現状と課題を理解し、健康の定義と乳幼児期の健康の意義を説明できる。			
3．乳幼児の体の諸機能の発達と生活習慣の形成について理解し、子どもの体の発達的特徴と基本的生活習慣の形成について説明できる。			
4．乳幼児期の病気の予防と安全な生活について理解し、子どもの怪我や病気、安全教育・安全管理について説明できる。			
5．乳幼児期の運動発達と身体活動について理解し、多様な動きを獲得することの意義や日常生活における身体活動の在り方を説明できる。			
授業の概要			
領域「健康」の指導に関連する、幼児の心身の発達、基本的な生活習慣、安全な生活、運動発達などの専門的事項についての知識を身に付ける。			
授業計画			
第 1 回：領域「健康」の意義　：健康とは何か			
第 2 回：領域「健康」の意義　：領域「健康」の内容とねらい			
第 3 回：子どもの健康をめぐる現状と課題			
第 4 回：体の諸機能の発達　：身体の発育			
第 5 回：体の諸機能の発達　：生理機能の発達			
第 6 回：子どもの運動発達と身体活動　：運動発達の段階（VTR視聴と分析）			
第 7 回：子どもの運動発達と身体活動　：遊びとしての運動を考える			
第 8 回：子どもの運動発達と身体活動　：幼児期運動指針			
第 9 回：子どもの生活習慣の形成　：食事・睡眠・排泄			
第 1 0 回：子どもの生活習慣の形成　：着脱衣・清潔			
第 1 1 回：子どもの病気と予防　：感染症対策			
第 1 2 回：子どもの病気と予防　：アレルギーへの対応			
第 1 3 回：安全管理と安全教育　：リスクとハザード			

第14回：安全管理と安全教育 ：安全学習と安全指導

第15回：まとめ

テキスト

1. 『実践保育内容シリーズ1 健康』谷田貝公昭ほか，一藝社，2018. 2000円（税別）
2. 『幼稚園教育要領解説』文部科学省，フレーベル館，2018. 240円（税別）
3. 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』内閣府・文部科学省・厚生労働省，フレーベル館，2018. 350円（税別）
4. 『保育所保育指針解説』厚生労働省，フレーベル館，2018. 320円（税別）

参考書・参考資料等

1. 『幼児期における運動発達と運動遊びの指導—遊びのなかで子どもは育つ—』杉原隆ほか，ミネルヴァ書房，2014. 2640円
2. 『子ども理解と保育実技—理論と実践に橋をかける—』佐藤菜美・山口恵子・齊藤勇紀（編著），ウェストン，2022. 560円（税別）
3. 『保育者の実践を支える理論と方法』齊藤勇紀・岩崎保之（編著），ウェストン，2019年. 700円（税別）
4. 『保育を支えるカリキュラムマネジメントの理論と実践』齊藤勇紀・中野啓明（編著），ウェストン，2020. 750円（税別）

学生に対する評価

小テスト 30%、レポート 30%、学習態度 40%

授業科目名： 子どもの運動遊び	教員の免許状取得のための 選択科目	単位数： 1 単位	担当教員名： 佐藤 菜美
			担当形態：単独
科 目	領域及び保育内容の指導法に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	領域に関する専門的事項 ・ 健康		
授業のテーマ及び到達目標 1. 意欲的に運動遊びを楽しむことができる。 2. 仲間との運動遊びを通して豊かな感受性とコミュニケーション力を高めることができる。 3. グループワークでは、自分の役割を自覚し、協力することができる。 4. 幼児期における運動遊び、身体表現遊びの意義を説明できる。 5. 幼児期の発達を理解した上で、運動あそび・身体表現遊びのレパートリーを増やし、環境構成と指導援助ができる。			
授業の概要 子どもの遊びと生活を豊かに展開するために必要な運動遊びに関する知識や技術について、実践的に学ぶ。幼児期における多様な動きの経験が生涯の学びにとって重要であることを踏まえ、子どもが主体的・積極的に運動に取り組めるような運動遊びを創作する実践力を身に付ける			
授業計画 第1回：オリエンテーション 第2回：運動遊びの基礎的な動き 第3回：小型遊具遊び 第4回：大型遊具遊び 第5回：見立てを活用した運動遊び 第6回：身体表現遊びの体験①ーリズム遊びー 第7回：身体表現遊びの体験②ー色々な動きの体験と探求ー 第8回：身体表現遊びの体験③ー引き出したいイメージと動きー 第9回：身体表現遊びの体験④ー音と動きー 第10回：身体表現遊びの体験⑤ー身近な素材を用いた運動遊びー 第11回：身体表現遊びの創作①ーテーマからイメージを広げるー 第12回：身体表現遊びの創作②ー動き・イメージ・音を統合するー 第13回：身体表現遊びの発表 第14回：行事を活用した運動遊びの計画と立案 第15回：行事を活用した運動遊びの実践			

テキスト

1. 『乳幼児のための豊かな感性を育む身体表現遊び』 青木理子, 青山優子, 井上勝子, 小川鮎子, 小松恵理子, 下釜綾子, 高原和子, 瀧信子, 宮嶋郁恵共著, ぎょうせい. 2,515 円 (税込)
2. 『幼稚園教育要領解説』 文部科学省, フレーベル館, 2018. 240円 (税別)
3. 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』 内閣府・文部科学省・厚生労働省, フレーベル館, 2018. 350円 (税別)
4. 『保育所保育指針解説』 厚生労働省, フレーベル館, 2018. 320円 (税別)

参考書・参考資料等

1. 『幼児期における運動発達と運動遊びの指導―遊びのなかで子どもは育つ―』 杉原隆ほか, ミネルヴァ書房, 2014. 2640円
2. 『子ども理解と保育実技―理論と実践に橋をかける―』 佐藤菜美・山口恵子・齊藤勇紀 (編著), ウェストン, 2022. 560円 (税別)
3. 『保育者の実践を支える理論と方法』 齊藤勇紀・岩崎保之 (編著). ウェストン, 2019年. 700円 (税別)
4. 『保育を支えるカリキュラムマネジメントの理論と実践』 齊藤勇紀・中野啓明 (編著). ウェストン, 2020. 750円 (税別)

学生に対する評価

最終レポート 40%、小レポート 30%、学習態度 30%

授業科目名： 子どもと人間関係	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2 単位	担当教員名： 中野 啓明
			担当形態：単独
科 目	領域及び保育内容の指導法に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	領域に関する専門的事項 ・ 人間関係		
授業のテーマ及び到達目標			
1. 幼児を取り巻く人間関係をめぐる現代的課題を説明できる。			
2. 幼児期の人間関係の発達について、幼稚園等における生活の姿から説明できる。			
授業の概要			
領域「人間関係」の指導の基盤となる、幼児の人と関わる力の育ちに関する専門的な事項について概説する。			
授業計画			
第1回：オリエンテーション			
第2回：幼児を取り巻く人間関係の現代的特徴とその社会的背景			
第3回：幼児を取り巻く人間関係を巡る諸課題			
第4回：人と関わる力の育ち - ケアリング論の視点からの分析 -			
第5回：ケアする力を育む			
第6回：幼児期の終わりまでに育ってほしい姿と領域「人間関係」との関連			
第7回：自立心・協同性の育ち			
第8回：道徳性・規範意識の芽生え			
第9回：領域「人間関係」に関わる事例の検討 - 初めての集団生活の中で -			
第10回：領域「人間関係」に関わる事例の検討 - 友達との関わりを深める中で -			
第11回：領域「人間関係」に関わる事例の検討 - みんなと生活する中で -			
第12回：領域「人間関係」に関わる事例の検討 - 様々な人々との交流の中で -			
第13回：領域「人間関係」に関わる事例の検討 - 小さな命との出会いの中で -			
第14回：領域「人間関係」に関わる事例の検討 - 園での生活の充実と保育者の役割 -			
第15回：学習のまとめと最終レポートの作成			
テキスト			
幼稚園における道徳性の芽生えを培うための事例集、文部科学省、ひかりのくに、2001年			
参考書・参考資料等			
1. 社会情動的スキルを育む「保育内容 人間関係」―乳幼児期から小学校へつなぐ非認知能力とは、無藤隆・古賀松香、北大路書房、2016年。			
2. 保育を支えるカリキュラム・マネジメントの理論と実践、齋藤勇紀・中野啓明、ウェストン、2020年。			

学生に対する評価

最終レポート30%、授業回毎に提出する小レポート50%、学習態度20%

授業科目名： 子どもと環境	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2 単位	担当教員名： 齊藤 勇紀
			担当形態：単独
科 目	領域及び保育内容の指導法に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	領域に関する専門的事項 ・ 環境		
授業のテーマ及び到達目標			
1.幼児にとっての「環境」の重要性を整理し、その意味を理解する。 2.他領域と領域「環境」との関係性を理解することができる。 3.幼児が他者との関係性の中で「環境に関わる力」がどのように発達するのかについて理解する。 4.身の回りの出来事に関心をもち、豊かな感性を身につける。 5.保育環境をどのように捉え、計画的に構成していくのかについて理解する。			
授業の概要			
領域「環境」の指導の基盤となる、幼児を取り巻く環境や、幼児と環境との関りについての専門的な事項について概説する。			
授業計画			
第1回：幼児を取り巻く環境の現代的課題 第2回：幼児理解と「環境を通して行う」保育 第3回：領域「環境」と他領域の関係 第4回：幼児を取り巻く環境の諸側面 第5回：「環境と関わる力」と専門的概念 第6回：幼児期の思考・科学的概念の発達 第7回：自然に親しみ、植物や生き物に触れる（自然事象、環境と持続可能な社会） 第8回：自然に親しみ、植物や生き物に触れる（自然との関り、生命尊重） 第9回：身近な道具に関わって遊ぶ（園内環境のデザイン） 第10回：身近な道具に関わって遊ぶ（園外環境のデザイン） 第11回：文字や標識、数量や図形に関心をもつ（生活に必要な文字や数、量） 第12回：文字や標識、数量や図形に関心をもつ（興味・関心を育む関り） 第13回：地域に親しむ、生活の情報に興味を持つ（園行事や地域との交流） 第14回：地域に親しむ、生活の情報に興味を持つ（多文化の理解） 第15回：領域「環境」と実践上の留意点			
定期試験			
テキスト			
1.『保育内容環 環境〔第3版〕』（新時代の保育双書）秋田喜代美ほか（編著），みらい，2			

019．2100円（税別）

2．『幼稚園教育要領解説』 文部科学省，フレーベル館，2018． 240円（税別）

3．『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』 内閣府・文部科学省・厚生労働省，フ
レーベル館，2018． 350円（税別）

4．『保育所保育指針解説』 厚生労働省，フレーベル館，2018年． 320円（税別）

参考書・参考資料等

1．『保育者の実践を支える理論と方法』 齊藤勇紀・岩崎保之（編著）．ウエストン，2019年．
700円＋税

2．『保育を支えるカリキュラムマネジメントの理論と実践』 齊藤勇紀・中野啓明（編著）．
ウエストン，2020． 750円（税別）

学生に対する評価

定期試験80％、学習態度20％

授業科目名： 子どもと言葉	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2 単位	担当教員名： 山口 恵子
			担当形態：単独
科 目	領域及び保育内容の指導法に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	領域に関する専門的事項 ・ 言葉		
授業のテーマ及び到達目標			
1. 人間にとっての言葉の役割、子どもの言葉の発達について理解し、説明できる。			
2. 子どもの言葉を育む適切な環境について理解し、保育者として子どもと関わる際に子どもの発達段階に合わせた適切な援助ができる。			
3. 絵本や物語、紙芝居等を通して、言葉の感覚を豊かにする保育実践についての基礎的な知識を身に付ける。			
授業の概要			
領域「言葉」の指導の基盤となる、幼児が豊かな言葉や表現を身に付け、想像する楽しさを広げるために必要な専門的事項について概説する。			
授業計画			
第1回：オリエンテーション、言葉の役割・機能を考える			
第2回：子どもの感性と言葉の指導			
第3回：子どもの言葉の発達（1）：言葉の発達過程と基盤			
第4回：子どもの言葉の発達（2）：初語～二語発話の頃			
第5回：子どもの言葉の発達（3）：3歳～6歳頃まで			
第6回：子どもの言葉の発達（4）：言葉の発達過程のまとめ、文字の学習			
第7回：子どもの言葉を豊かに育む保育者の役割と援助			
第8回：言葉の育ちに関わる諸課題			
第9回：幼稚園教育要領・保育所保育指針にみる領域「言葉」			
第10回：言葉を育てる児童文化財：その特徴と役割			
第11回：保育における手遊び			
第12回：保育における紙芝居			
第13回：保育における絵本			
第14回：保育における物語			
第15回：授業の総括			
テキスト			
1. 『子どもと言葉 新訂第2版 』岡田明 編、萌文書林、2018年、1760円			
2. 『幼稚園教育要領解説』文部科学省、フレーベル館、2018年、264円			

3. 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』内閣府・文部科学省・厚生労働省、フレーベル館、2018年、385円

4. 『保育所保育指針解説』厚生労働省、フレーベル館、2018年、352円

参考書・参考資料等

1. 『保育を支えるカリキュラムマネジメントの理論と実践』齊藤勇紀・中野啓明編著、ウェストン、2020年、825円

2. 『子どもとことば』岡本夏木著、岩波書店（岩波新書179）、1982年、836円

3. 『新・子どもたちの言語獲得』小林春美・佐々木正人著、大修館書店、2008年、2530円

4. 『ヘレン・ケラーはどう教育されたか—サリバン先生の記録』アン・サリバン著、槇恭子訳、明治図書出版、1995年、1562円

5. 『保育者のための言語表現の技術—子どもとひらく児童文化財をもちいた保育実践—第2版』古橋和夫編著、萌文書林、2019年、2200円

学生に対する評価

レポート50%、学習態度30%、手遊びの実践20%

授業科目名： 子どものことば遊び	教員の免許状取得のための 選択科目	単位数： 1 単位	担当教員名： 山口 恵子
			担当形態： 単独
科 目	領域及び保育内容の指導法に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	領域に関する専門的事項 ・言葉		
授業のテーマ及び到達目標			
1. 保育における言語表現技術の意義を理解し、説明できる。 2. 言語表現技術を用いた遊びの方法を理解し、実践できる。 3. 絵本の特性を知り、子どもの発達や興味関心に応じて適切な絵本を選択し、読み聞かせができる。			
授業の概要			
保育において遊びの中で言葉を用いることは、子どもが言葉に親しみ、様々な言葉を習得し、言葉の発達を促すことにつながる。この授業では、子どもの遊びを豊かに展開するために必要な児童文化財に関する知識や技術について実践的に学ぶ。具体的には、子どもの発達を踏まえた上での絵本の読み聞かせ等の知識を身につけ、保育実践を通して技術を習得する。また、子どもの言葉遊びの体験や環境構成について理解する。			
授業計画			
第1回：オリエンテーション、保育における言語表現技術			
第2回：絵本に親しむ（1）：絵本入門			
第3回：絵本に親しむ（2）：物語絵本の世界			
第4回：絵本に親しむ（3）：しかけ絵本を楽しむ			
第5回：絵本に親しむ（4）：子どもの発達と絵本			
第6回：読み聞かせの技術（1）：発声、活舌、読み聞かせの基礎			
第7回：読み聞かせの技術（2）：集団への読み聞かせの技術指導			
第8回：読み聞かせの実践（1）：物語絵本の読み聞かせ			
第9回：読み聞かせの実践（2）：季節・行事の絵本の読み聞かせ			
第10回：読み聞かせの実践（3）：オノマトペ絵本の読み聞かせ			
第11回：読み聞かせの実践（4）：評価と改善			
第12回：言葉を育てる遊び（1）：ことば遊び			
第13回：言葉を育てる遊び（2）：おはなしづくり			
第14回：言葉を育てる遊び（3）：日本の伝承遊び			
第15回：授業のまとめ			
テキスト			
1. 東京子ども図書館編『TCLブックレット「よみきかせのきほん—保育園・幼稚園・学校で			

の実践ガイド』』 東京子ども図書館 2018年 825円

2. 佐藤菜美・山口恵子・齊藤勇紀編著『子ども理解と保育実技—理論と実践に橋をかける—』 ウェストン 2021年 616円

その他に、「子どもと言葉」で使用するテキストを持参すること。

参考書・参考資料等

1. 『保育者のための言語表現の技術—子どもとひらく児童文化財をもちいた保育実践—第2版』古橋和夫編著、萌文書林、2019年、2200円
2. 『ことばと表現力を育む児童文化 第2版』川勝泰介・浅岡靖央・生駒幸子編著、萌文書林、2019年、2200円
3. 『保育を支えるカリキュラムマネジメントの理論と実践』齊藤勇紀・中野啓明編著、ウェストン、2020年、825円
4. 『絵本の事典』中川素子・吉田新一・石井光恵・佐藤博一編、朝倉書店、2011年、16500円
5. 『絵本とイラストレーション 見えることば、見えないことば』今井良朗編著、武蔵野美術大学出版局、2014年、3740円
6. 『クシュラの奇跡—140冊の絵本との日々』ドロシー・バトラー著、百々佑利子訳、のら書店、2006年、1760円
7. 『幼稚園・保育園で使いたい 読み聞かせ絵本』柴村紀代編、北海道えほん研究会、2019年、1100円（図書館でみてください）
8. 『日本伝承遊び事典』東京おもちゃ美術館編、黎明書房、2018年、4950円

学生に対する評価

レポート30%、学習態度20%、授業内の実践50%

授業科目名： 子どもと表現	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2単位	担当教員名： 佐藤 菜美
			担当形態：単独
科 目	領域及び保育内容の指導法に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	領域に関する専門的事項 ・表現		
授業のテーマ及び到達目標 1. 幼稚園教育要領・保育所保育指針等をもとに、「表現」領域における目標及び内容を理解する。 2. 子どもの表現の姿やその発達的特徴を理解し、表現の定義や構造を説明できる。 3. 身体・造形・音楽表現などの様々な表現を感じる・みる・聴く・楽しむ体験を通して、イメージを豊かにするとともに、表現の多様性について説明できる。 4. 身近なものを身体の諸感覚で捉え、素材の特性を生かした表現活動に取り組み、その面白さを生み出す要因について分析・考察することができる。 5. 協働して表現することを通し、他者の表現を受け止め共感し、より豊かな表現につなげていくことができる。			
授業の概要 領域「表現」の指導に関連する、幼児の表現の姿やその発達及びそれを促す要因、幼児の感性や創造性を豊かにする様々な表現遊びや環境の構成などの専門的事項についての知識・技能、表現力を身に付ける。			
授業計画 第1回：領域「表現」の意義①：表現とは何か 第2回：領域「表現」の意義②：領域「表現」の内容とねらい 第3回：自然と表現①：自然環境の観察と自然素材の収集 第4回：自然と表現②：自然素材を使った表現と鑑賞 第5回：歌と表現①：子どもの歌・わらべ歌 第6回：歌と表現②：手遊び歌と表現と鑑賞 第7回：身体の動きと表現①：多様な動き 第8回：身体の動きと表現②：イメージと動きの表現と鑑賞 第9回：音と表現①：身近な音探し 第10回：音と表現②：手作り楽器の制作と表現 第11回：造形と表現①：様々な素材の探索 第12回：造形と表現②：身近な素材を使った表現と鑑賞（描く、切る、見立てるなど） 第13回：総合表現①：多様な表現を統合する			

第14回：総合表現②：創作

第15回：総合表現③：発表

定期試験

テキスト

1. 『乳幼児ための 豊かな感性を育む身体表現遊び』 青木理子, 青山優子, 井上勝子, 小川鮎子, 小松恵理子, 下釜綾子, 高原和子, 瀧信子, 宮嶋郁恵共著, ぎょうせい. 2,515 円 (税込)
2. 『幼稚園教育要領解説』 文部科学省, フレーベル館, 2018. 240円 (税別)
3. 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』 内閣府・文部科学省・厚生労働省, フレーベル館, 2018. 350円 (税別)
4. 『保育所保育指針解説』 厚生労働省, フレーベル館, 2018. 320円 (税別)

参考書・参考資料等

1. 『子ども理解と保育実技―理論と実践に橋をかける―』 佐藤菜美・山口恵子・齊藤勇紀 (編著), ウェストン, 2022. 560円 (税別)
2. 『保育者の実践を支える理論と方法』 齊藤勇紀・岩崎保之 (編著). ウェストン, 2019年. 700円 (税別)
3. 『保育を支えるカリキュラムマネジメントの理論と実践』 齊藤勇紀・中野啓明 (編著). ウェストン, 2020. 750円 (税別)

学生に対する評価

レポート30%、学習態度30%、課題発表40%

授業科目名： 子どもの造形遊び	教員の免許状取得のための 選択科目	単位数： 1 単位	担当教員名： 福岡 龍太
			担当形態： 単独
科 目	領域及び保育内容の指導法に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	領域に関する専門的事項 ・ 表現		
授業のテーマ及び到達目標 １．造形活動に必要な、素材の知識および表現技法を習得する。 ２．造形活動を行う意義と、それを支える表現力を養う。			
授業の概要 本科目は、乳幼児等を対象とした造形活動に必要な知識や技術を習得することを目的とする。 様々な材料・技法を用いた制作課題を通して、造形活動が豊かな社会に有用であることの理解を深めるとともに、経験知から導いた発想力や構想力を身につけていく。			
授業計画 第１回：オリエンテーション 第２回：きること（１）手作業のみでちぎる、やぶる 第３回：きること（２）道具を使って切る 第４回：ならべること（１）サンプル制作（基礎） 第５回：ならべること（２）サンプル制作（応用） 第６回：はること 第７回：はること（作品完成） 第８回：美術作品を鑑賞する 第９回：美術作品を鑑賞する（まとめ） 第１０回：疑似体験あそび（利き手を意識した絵画制作） 第１１回：疑似体験あそび（利き手を意識した立体制作） 第１２回：疑似体験あそび（身体運動を制限した制作活動） 第１３回：疑似体験あそび（身体機能を軽く制限した制作活動） 第１４回：疑似体験あそび（身体機能を制限した制作活動） 第１５回：疑似体験あそび（振り返りとまとめ） 定期試験は実施しない。			
テキスト 必要な資料は授業内に配布する。。			
参考書・参考資料等 特になし。			

学生に対する評価

レポート20%、学習態度40%、その他（作品評価など）40%

授業科目名： 保育内容総論	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2 単位	担当教員名： 山口 恵子
			担当形態：単独
科 目	領域及び保育内容の指導法に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)		
授業のテーマ及び到達目標			
1．保育内容についての基礎的事項が理解でき、具体的な保育（計画・実践・記録・省察・評価）につなげて理解できる。			
2．幼稚園教育要領・保育所保育指針等の「保育目標」「育みたい資質・能力」「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」と保育内容の関連を理解できる。			
3．教育・保育における5領域について理解し、説明できる。			
4．教育・保育の全体構造を理解し、教育目標、教育課程、全体的な計画、指導計画の概念と意義を理解し、保育実践のあり方について読み取れる。			
5．子ども理解を深め、幼稚園教育実習・保育実習やその他の機会において、保育の多様な展開を理解できる。			
授業の概要			
保育目標・子どもの発達・保育内容の関連を踏まえた上で、環境を通して行われ、遊びにより総合的に行われる幼稚園教育および保育所保育の全体的な構造を理解する。			
授業計画			
第1回：保育内容とは			
第2回：幼稚園・保育所・幼保連携型認定こども園の特徴、幼稚園教育要領・保育所保育指針等にみる保育内容			
第3回：幼稚園教育における教育および保育の考え方			
第4回：保育所保育における教育および保育の考え方			
第5回：認定こども園における教育および保育の考え方			
第6回：環境を通して行う保育と保育者の役割			
第7回：子どもの発達と遊びを通した総合的な指導			
第8回：教育課程の役割と編成上の基本的事項			
第9回：各領域に示されるねらい及び内容			
第10回：指導計画作成の考え方と保育者の役割			
第11回：子ども理解に基づく保育の展開（観察の視点、記録の書き方、観察の注意事項）			
第12回：幼稚園参与観察			
第13回：幼稚園参与観察の振り返り（グループワークと発表）			
第14回：現代保育の課題、家庭・地域との連携			

第15回：全体のまとめ、小学校との連携・接続

テキスト

1. 『保育を支えるカリキュラムマネジメントの理論と実践』 齊藤勇紀・中野啓明編著、ウエストン、2020年、750円＋税
2. 『幼稚園教育要領解説 平成30年3月』文部科学省、フレーベル館、2018年、240円＋税
3. 『保育所保育指針解説 平成30年3月』厚生労働省、フレーベル館、2018年、320円＋税
4. 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説 平成30年3月』内閣府・文部科学省・厚生労働省、フレーベル館、2018年、350円＋税

参考書・参考資料等

1. 『新版 演習 保育内容総論』金澤妙子・前田和代編著、建帛社、2019年、1,600円＋税
2. 『新版 エピソードから楽しく学ぼう 保育内容総論』福崎淳子・及川留美編著、創成社、2019年、2,400円＋税
3. 『教育・保育の基礎理論』中野啓明・佐藤朗子編著、考古堂、2012年、2,000円＋税
4. 『保育用語辞典』森上史朗ほか、ミネルヴァ書房、2015年、2,300円＋税

学生に対する評価

レポート70%、学習態度30%

授業科目名： 健康指導法	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2単位	担当教員名： 佐藤 菜美
			担当形態：単独
科 目	領域及び保育内容の指導法に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)		
授業のテーマ及び到達目標			
1. 幼稚園教育要領・保育所保育指針等の領域「健康」のねらい及び内容並びに全体構造を理解している。			
2. 領域「健康」のねらい及び内容を踏まえ、乳幼児期に経験し身に付けていく内容と指導上の留意点を理解している。			
3. 子どもの発達や学びの過程を理解し、領域「健康」に関わる具体的な指導場面を想定した保育構想のための方法を身に付けている。			
4. 領域「健康」の特性および子どもの体験との関連性を考慮した教材・情報機器等の活用法を理解し、保育構想に活用することができる。			
5. 模擬保育とその振り返りを通して、保育を改善する視点を身に付けている。			
6. 領域「健康」の特性に応じた現代的課題や保育実践の動向を知り、保育構想の向上に取り組むことができる。			
授業の概要			
幼稚園教育要領・保育所保育指針等をもとに、「健康」領域における目標、内容、方法、配慮事項等に関する理論と実践を学ぶ。具体的には、「健康、安全など生活に必要な基本的な習慣や態度を養い、心身の健康の基礎を培う」領域である健康領域における目標及び内容等を概説するとともに、具体的な指導場面を想定したうえで、健康領域に関わる集団生活における個人の発達の援助としての知識と態度の習得をはかる。また、健康及び安全にかかわる事項についても学ぶ。			
授業計画			
第1回：領域「健康」のねらい及び内容			
第2回：基本的生活習慣の形成を支える援助と環境構成の実際			
第3回：健康管理と安全能力を育む援助と環境構成の実際			
第4回：健康指導・安全指導に関する年間指導計画の実際			
第5回：健康指導・安全指導に関する年間指導計画の作成			
第6回：健康指導・安全指導に関する年間指導計画の検討			
第7回：運動発達を支える援助と環境構成			
第8回：運動遊びにおける援助の実際①（VTRの視聴と分析）			
第9回：運動遊びにおける援助の実際②（用具を使わない遊び）			

第10回：運動遊びにおける援助の実際③（身近な素材を使った遊び）

第11回：運動遊びにおける援助の実際④（用具を使った遊び）

第12回：運動遊びに関する指導案の作成

第13回：運動遊びの模擬保育の実施

第14回：運動遊びの模擬保育の振り返り

第15回：まとめと課題

テキスト

1. 『実践保育内容シリーズ1 健康』谷田貝公昭ほか，一藝社，2018. 2000円（税別）
2. 『幼稚園教育要領解説』文部科学省，フレーベル館，2018. 240円（税別）
3. 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』内閣府・文部科学省・厚生労働省，フレーベル館，2018. 350円（税別）
4. 『保育所保育指針解説』厚生労働省，フレーベル館，2018. 320円（税別）

参考書・参考資料等

1. 『幼児期における運動発達と運動遊びの指導—遊びのなかで子どもは育つ—』杉原隆ほか，ミネルヴァ書房，2014. 2640円
2. 『子ども理解と保育実技—理論と実践に橋をかける—』佐藤菜美・山口恵子・齊藤勇紀（編著），ウェストン，2022. 560円（税別）
3. 『保育者の実践を支える理論と方法』齊藤勇紀・岩崎保之（編著），ウェストン，2019年，700円（税別）
4. 『保育を支えるカリキュラムマネジメントの理論と実践』齊藤勇紀・中野啓明（編著），ウェストン，2020. 750円（税別）

学生に対する評価

小テスト 30%、レポート 30%、学習態度 40%

授業科目名： 人間関係指導法	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2 単位	担当教員名： 中野 啓明
			担当形態：単独
科 目	領域及び保育内容の指導法に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)		
授業のテーマ及び到達目標			
1．保育内容の全体構成を説明することができる。			
2．領域「人間関係」のねらい及び内容等について理解し、年齢に応じた領域「人間関係」におけるスコープとシーケ（ク）エンスを作成することができる。			
3．発達や学びの過程を理解し、具体的な指導場面を想定して保育を構想することができる。			
授業の概要			
幼児期において育みたい資質・能力を理解し、領域「人間関係」におけるねらい及び内容等についての理解を深めるとともに、発達に即した具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を学ぶ。			
授業計画			
第1回：オリエンテーション - 幼児期において育みたい資質・能力と領域「人間関係」 -			
第2回：保育内容の全体構造			
第3回：領域「人間関係」のねらい			
第4回：領域「人間関係」の内容			
第5回：年間指導計画の実際例			
第6回：領域「人間関係」におけるスコープとシーケ（ク）エンスの作成			
第7回：グループ毎のスコープとシーケ（ク）エンスの検討			
第8回：保育を構想する際の留意点 - 乳幼児期の遊びの特徴と保育におけるICTの活用場面 -			
第9回：豊かな人間関係を育む保育の構想（3歳児・4歳児）			
第10回：豊かな人間関係を育む保育の実践（3歳児・4歳児）			
第11回：豊かな人間関係を育む保育の評価と改善（3歳児・4歳児）			
第12回：豊かな人間関係を育む保育の構想（5歳児）			
第13回：豊かな人間関係を育む保育の実践（5歳児）			
第14回：豊かな人間関係を育む保育の評価と改善（5歳児）			
第15回：保育実践上の課題と最終レポートの作成			
テキスト			
1. 幼稚園教育要領解説、文部科学省、2018年			
2. 保育所保育指針解説書、厚生労働省、2018年			
3. 幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説、内閣府、2018年			

参考書・参考資料等

1. 教育・保育の基礎を学ぶ―子どもの育ちを支える理論と実践―、岩崎保之編著、国際文献社、2017年
2. 幼児教育の基礎を学ぶ、中野啓明・伊藤充編著、大創パブリッシング、2022年

学生に対する評価

最終レポート30%、授業回毎に提出する小レポート50%、学習態度20%

授業科目名： 環境指導法	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2 単位	担当教員名： 齊藤 勇紀
			担当形態：単独
科 目	領域及び保育内容の指導法に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)		
授業のテーマ及び到達目標			
1.講義及び実体験を通して、子どもの育ちや保育実践と領域「環境」とのかかわりを理解することができる。			
2. 領域「環境」のねらい及び内容を踏まえ、保育を構想し実践していくための基礎を培う。			
3.身近な環境とかかわる中で環境を捉える視点や感性を豊かにし、保育者としての環境に対する意識を高め、環境に関する知識と理解を深める。			
4.環境とかかわる中で子どもが発達する姿を捉え、子どもの育ちを刺させる環境のあり方を構想することができる。			
5. 具体的な保育を想定した指導案を作成し、模擬保育をとおして保育を改善する視点を身に付ける。			
授業の概要			
幼稚園教育要領、保育所保育指針等をもとに領域「環境」のねらい及び内容について背景となる専門領域と関連させて、幼児期において育みたい資質能力を育むための指導法を教授する。具体的には、「周囲の様々な環境に好奇心や探求心をもって関わり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養う」領域であることを概説する。そして、幼児の発達に即した主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえ、領域「環境」の具体的な指導場面を想定した保育を構想するための指導法を学ぶ。			
授業計画			
第1回：保育における環境と領域「環境」			
第2回：子どもの発達と環境構成			
第3回：動植物に親しむ保育 - 身近な動植物 -			
第4回：動植物に親しむ保育 - 植物栽培と動物飼育（アクティブラーニングアワー） -			
第5回：子どもの遊びと環境 - 保育の展開と園内環境 -			
第6回：子どもの遊びと環境 - 保育の展開と園外環境 -			
第7回：子どもの遊びと環境 - 園外保育（アクティブラーニングアワー） -			
第8回：子どもの生活と環境 - 物の性質・しくみ／数量・図形／標識・文字 -			
第9回：子どもの生活と環境 - 社会・地域／行事／文化 -			
第10回：保育におけるICTの活用 —保育者の実践 -			
第11回：保育におけるICTの活用 - 幼児の遊び -			

第12回：身近な環境にかかわる保育実践 - 保育の計画・準備 -

第13回：身近な環境にかかわる保育実践 - 実践 -

第14回：身近な環境にかかわる保育実践 - 省察、改善 -

第15回：まとめ

テキスト

1. 『保育内容環境環境〔第3版〕』（新時代の保育双書）秋田喜代美ほか（編著），みらい，2019．2100円（税別）

2. 『幼稚園教育要領解説』 文部科学省，フレーベル館，2018．240円（税別）

3. 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』 内閣府・文部科学省・厚生労働省，フレーベル館，2018．350円（税別）

4. 『保育所保育指針解説』 厚生労働省，フレーベル館，2018．320円（税別）

参考書・参考資料等

1. 保育者の実践を支える理論と方法』齊藤勇紀・岩崎保之（編著）．ウエストン，2019年．700円＋税

2. 保育を支えるカリキュラムマネジメントの理論と実践． 齊藤勇紀・中野啓明（編著）．ウエストン，2020．750円（税別）

学生に対する評価

小テスト40%、保育指導案40%、学習態度20%

授業科目名： 言葉指導法	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2 単位	担当教員名： 山口 恵子 担当形態：単独
科 目	領域及び保育内容の指導法に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)		
授業のテーマ及び到達目標			
1. 幼稚園教育要領・保育所保育指針等における領域「言葉」のねらい及び内容並びに全体構造を理解している。			
2. 領域「言葉」のねらい及び内容を踏まえ、乳幼児期に経験し身に付けていく内容と指導上の留意点を理解している。			
3. 領域「言葉」の特性及び乳幼児の体験との関連を考慮した教材の活用法を理解し、保育構想に活用することができる。			
4. 発達や学びの過程を理解し、具体的な指導場面を想定して保育を構想することができる。			
5. 領域「言葉」の特性に応じた現代的課題や保育実践の動向を学び、保育構想の向上に取り組むことができる。			
授業の概要			
幼児期において育みたい資質能力について理解し、領域「言葉」のねらい及び内容について背景となる専門領域と関連させて理解を深め、幼児の発達に即した領域「言葉」の具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を学ぶ。			
授業計画			
第1回：オリエンテーション：幼児期において育みたい資質能力と領域「言葉」			
第2回：領域「言葉」のねらいと内容			
第3回：子どもの言葉の発達と個々の発達に応じた保育者の援助			
第4回：言葉を育てる環境構成と保育者の援助			
第5回：子どもの言葉を豊かに育む教材研究：絵本を用いた保育の構想			
第6回：領域「言葉」におけるICTの活用（デジタル絵本、デジタル紙芝居）			
第7回：言葉の指導と指導計画の実際例			
第8回：子どもの言葉を豊かに育む保育の構想（3・4歳児）			
第9回：子どもの言葉を豊かに育む保育の実践（3・4歳児）			
第10回：子どもの言葉を豊かに育む保育の評価と改善（3・4歳児）			
第11回：子どもの言葉を豊かに育む保育の構想（5歳児）			
第12回：子どもの言葉を豊かに育む保育の実践（5歳児）			
第13回：子どもの言葉を豊かに育む保育の評価と改善（5歳児）			
第14回：領域「言葉」と小学校との接続			

第15回：授業の総括

テキスト

1. 『子どもと言葉 新訂第2版』 岡田明 編、萌文書林、2018年、1760円
2. 『子ども理解と保育実技—理論と実践に橋をかける—』 佐藤菜美・山口恵子・齊藤勇紀 編、ウエストン、2021年、616円
3. 『幼稚園教育要領解説』 文部科学省、フレーベル館、2018年、264円
4. 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』 内閣府・文部科学省・厚生労働省、フレーベル館、2018年、385円
5. 『保育所保育指針解説』 厚生労働省、フレーベル館、2018年、352円

参考書・参考資料等

1. 『保育を支えるカリキュラムマネジメントの理論と実践』 齊藤勇紀・中野啓明編著、ウエストン、2020年、825円
2. 『子どもとことば』 岡本夏木著、岩波書店（岩波新書179）、1982年、836円
3. 『保育内容 指導法「言葉」—乳幼児と育む豊かなことばの世界—』 大橋喜美子・川北典子編著、建帛社、2019年、2090円
4. 『ふしぎだね!? 言語障害のおともだち』 牧野泰美監修・阿部厚仁編、ミネルヴァ書房、2007年、1980円
5. 『保育者のための言語表現の技術—子どもとひらく児童文化財をもちいた保育実践—第2版』 古橋和夫編著、萌文書林、2019年、2200円

学生に対する評価

レポート40%、指導案40%、学習態度20%

授業科目名： 表現指導法	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2単位	担当教員名： 渡辺優子 担当形態：単独
科 目	領域及び保育内容の指導法に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）		
授業のテーマ及び到達目標			
1. 幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、領域「表現」のねらい及び内容の特徴を説明することができる。			
2. 幼児の表現の姿やその発達、及び、それを促す要因、幼児の感性や創造性を豊かにする様々な表現遊びや環境の構成の在り方を考察する力を身に付ける。			
3. 具体的な保育を想定した指導案を作成し、模擬保育をとおして保育を改善する視点を身に付ける。			
授業の概要			
領域「表現」のねらい及び内容を踏まえた上で、幼児の表現の姿やその発達、及び、それを促す要因、幼児の感性や創造性を豊かにする様々な表現遊びや環境の構成の在り方など、領域「表現」に関わる指導方法について学ぶ。			
授業計画			
第1回：幼児教育の基本と領域「表現」のねらい及び内容			
第2回：幼児の表現する姿やその発達の過程			
第3回：表現活動と「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」との関連			
第4回：領域「表現」と小学校教育との関連			
第5回：表現活動の実践例の調査・分析			
第6回：表現活動における子ども理解と評価			
第7回：指導上の留意点の検討			
第8回：表現を楽しむことのできる環境構成の在り方の検討			
第9回：自然や自然物を用いた表現活動の構想			
第10回：行事における表現活動の在り方の検討			
第11回：領域「表現」における情報機器及び教材の活用法			
第12回：指導案の作成			
第13回：グループでの指導案の検討			
第14回：模擬保育の実施とその振り返り			
第15回：授業のまとめ			
テキスト			

幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携認定こども園教育・保育要領、「幼児教育の基礎を学ぶ」(大創パブリッシング)	
参考書・参考資料等	
授業ごとに参考文献、資料等を適宜紹介する。	
学生に対する評価	
毎回の授業を通じたポートフォリオによる評価	70% 最終レポート30%

授業科目名： 乳児保育Ⅰ	教員の免許状取得のための 選択科目	単位数： 2単位	担当教員名： 齊藤 勇紀
			担当形態：単独
科 目	大学が独自に設定する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等			
授業のテーマ及び到達目標 1. 我が国における保育所や乳児院の機能および保育者の役割について理解する。 2. 乳児期保育の理論や基礎的な知識・技術を理解し実践できる。 3. 乳児の発育・発達について理解し、具体的な課題を検討しながら指導計画を作成できる。 4. 保護者支援の重要性が理解でき、対応について考えることができる。			
授業の概要 就学前施設における乳児保育の意義と目的について理解し、現代の実情に応じた乳児保育の現状と課題を整理する。乳児保育、1歳以上3歳未満児保育の保育内容を理解した上で、職員間、他職種・他機関との連携・協働、保護者や地域との関わりによる保育実践の重要性に対する理解を深める。			
授業計画 第1回：子どもの生活と保育 第2回：乳児保育の理念と意義 第3回：乳児保育の歩みから乳児保育の現代的課題 第4回：保育所・乳児院における乳幼児の現状と課題 第5回：乳児保育における基本的な援助やかかわり 第6回：乳児の生活と遊び(0歳児) 第7回：乳児の生活と遊び(1歳児) 第8回：乳児の生活と遊び(2歳児) 第9回：乳児を支える保育計画 保育計画の作成 第10回：子育て支援について（家庭と地域の連携、家庭での育児） 第11回：乳児保育の課題① 児童虐待・DVを考える 第12回：乳児保育の課題② 発達の遅れ、発達障害 第13回：子育て支援と保護者支援 事例を通して考える(学生提供、GW) 第14回：保育者の専門性と保育者固有の子育て支援 第15回：乳児保育のまとめ			
テキスト 1. 『基本保育シリーズ15 乳児保育Ⅰ・Ⅱ』 寺田清美・大方美香・塩谷 香(編著)、中央法規			

、価格：2,800円（税別）

2. 『保育所保育指針解説』厚生労働省、フレーベル館、2018、320円＋税

3. 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』、内閣府・文部科学省・厚生労働省、フレーベル館、2018、350円＋税

参考書・参考資料等

1. 『保育者の実践を支える理論と方法』 齊藤勇紀・岩崎保之編著、ウエストン、2019年、700円＋税

2. 保育を支えるカリキュラムマネジメントの理論と実践. 齊藤勇紀・中野啓明（編著）. ウエストン、2020. 750円（税別）

3. 図表で学ぶ子どもの保健（1） 加藤忠明・岩田力（編） 健常社 2592円（税込み）

4. 子どもの保健（第5版） 巷野 悟郎（編） 診断と治療社 2160円（税込み）

5. 子どもの保健 理論と実際 巷野 悟郎他（編） 同文書院 2268円（税込み）

6. はじめて学ぶ乳児保育 志村聡子 編著 同文書院 2100円（税込み）

学生に対する評価

レポート50%、小テスト30%、学習態度20%

授業科目名： 子ども家庭支援論	教員の免許状取得のための 選択科目	単位数： 2 単位	担当教員名： 齊藤 勇紀
			担当形態：単独
科 目	大学が独自に設定する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等			
授業のテーマ及び到達目標			
多様な背景をもつ子育て家庭を支援するためには、保育者と他職種との連携による支援が求められる。本講義では、子育て家庭に対する支援の意義と目的、実際の支援体制を理解する。その上で、保育者の専門性を生かした家庭支援の基本と子育て支援の方法を身につけることを目的とする。			
授業の概要			
1.現代の子育て家庭と取り巻く状況を社会、地域、家庭の側面から理解することができる。 2.子育て支援施策と家庭支援の実際を理解することができる。 3.多様な子育て支援の実際を理解することができる。 4.家庭支援、保護支援について理解することができる。 5.乳幼児期の子どもを養育する保護者への相談援助の実際について理解することができる。			
授業計画			
第1回：家庭支援の理解と役割 第2回：家庭の機能と役割 第3回：家庭生活を取り巻く社会的状況（現代社会の課題） 第4回：家庭生活を取り巻く状況（地域社会の課題） 第5回：国、地方自治体における子育て支援施策 第6回：多様な子育て支援の展開 保育所、幼稚園、認定こども園 第7回：多様な子育て支援の展開 地域子育て支援事業、行政機関 第8回：家庭支援・保護者支援の実際 第9回：要保護児童および家庭と保護者への支援 第10回：保育所における子育て支援 第11回：保育者の専門性と保育者固有の子育て支援 第12回：子育て支援に生かす情報収集 第13回：子育て支援における相談支援計画の作成 第14回：事例検討（虐待が疑われる事例） 第15回：事例検討（発達障害が疑われる事例）			
テキスト			
適宜、資料を提供する。			

参考書・参考資料等
1. 『保育所保育指針解説』 厚生労働省編 2018 フレーベル館
2. 『保育者の実践を支える理論と方法』 齊藤勇紀・岩崎保之編著、ウエストン、2019年、700円＋税
3. 『保育を支えるカリキュラムマネジメントの理論と実践』 齊藤勇紀・中野啓明（編著）、ウエストン、2020、750円（税別）
学生に対する評価
小テスト40%、最終レポート30%、個別の支援計画20%、授業態度10%

授業科目名： 子ども家庭支援の心理学	教員の免許状取得のための 選択科目	単位数： 2 単位	担当教員名： 佐藤 朗子 担当形態：単独
科 目	大学が独自に設定する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等			
授業のテーマ及び到達目標			
家族を構成する各世代の心理学的発達課題を理解し、家庭支援のあり方を具体的に学ぶ。 １．子どもの各発達段階に特有の特定の行動や思考プロセスを、発達心理学的知識と結びつけて理解することができる。 ２．生活場面における具体的な親子の関わりや親子関係の課題を、親子双方の発達段階/発達課題と結びつけて心理学的な視点から解釈し、説明することができる。 ３．家族成員間の相互作用を理解し、関係性の維持と変化に対する成員の役割について心理学的視点から解釈し、説明することができる。 ４．子育て家庭や保護者に対する直接的・間接的支援について心理学的視点から検討・考察することができる。			
授業の概要			
家族を構成する各世代の心理学的発達段階の特徴と課題を理解し、子ども、親世代、祖父母世代の相互の関わりが各々の発達課題への取り組みや精神的健康に重要な意味を持つことを理解する。また親としての発達過程や家族のあり方の多様性を知り、家庭支援のあり方を具体的に学ぶ。			
授業計画			
第 1 回：子どもの心と生活環境、愛着形成、親役割の取得と成長 第 2 回：基本的生活習慣の形成とその支援、子どものストレスと身体症状、行動上の問題 第 3 回：育児不安、育児ストレス、保育現場における保護者支援 第 4 回：社会の中の家族、家族形態の変化、家族観の変化、家族の機能 第 5 回：家族システムの理解、家族システム理論 第 6 回：家族の発達段階と発達課題、家族のライフサイクル、家族の発達課題 第 7 回：女性のライフコースの多様化、ワークライフバランス 第 8 回：父親の育児参加、ワークライフバランス 第 9 回：祖父母世代の発達課題、祖父母と孫の関係、祖父母による育児支援 第 1 0 回：多様な家族形態、夫婦・親子・きょうだいのあり方の多様性 第 1 1 回：家族観の文化的差異、異なる文化的背景をもつ家庭の支援 第 1 2 回：保護者との信頼関係と協力関係の構築、心理学的支援のあり方 第 1 3 回：特別な配慮を要する家庭への支援			

第14回：ネットワークの中の家族、ピアサポート、支援のネットワーク

第15回：親と保育者の成長・発達モデル、家族観、子ども観・保育観

定期試験

テキスト

『子ども家庭支援の心理学（新・基本保育シリーズ）』 白川佳子・福丸由佳（編） 中央法規出版 2019年（2200円）

参考書・参考資料等

『保育の実践を支える理論と方法』 齊藤勇紀・岩崎保之（編） ウェストン 2019年

学生に対する評価

定期試験（50％）、各回の授業参加と提出課題（50％）

授業科目名： 子育て支援	教員の免許状取得のための 選択科目	単位数： 1 単位	担当教員名： 藤瀬 竜子 佐藤 貴洋 担当形態：複数
科 目	大学が独自に設定する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等			
授業のテーマ及び到達目標			
１．保育士の行う保育の専門性を背景とした保護者に対する相談、助言、情報提供、行動見本の提示等の支援（保育相談支援）について、その特性と展開を具体的に理解する。			
２．保育士の行う子育て支援について、様々な場や対象に即した支援の内容と方法及び技術を実践事例等を通して具体的に理解する。			
授業の概要			
保育士の行う子育て支援の特性について理解し、具体的な支援方法や社会資源の活用、他機関との連携について理解する。また、様々な場や対象に即した支援の内容と方法及び技術を実践事例等を通して具体的に理解する。			
授業計画			
第1回 子育て家庭を取り巻く社会的状況			
第2回 子育て家庭の保護者の状況			
第3回 子育て支援の基本的価値・倫理			
第4回 保護者の理解と関わり方（子育ての大変さ）			
第5回 保護者の理解と関わり方（保護者の思いとエンパワメント）			
第6回 子育て支援における計画・記録・評価（相談援助の展開過程）			
第7回 子育て支援における計画・記録・評価（相談援助における援助関係の基本原則）			
第8回 地域資源の活用と関係機関の連携（ジェノグラム・エコマップの基本）			
第9回 地域資源の活用と関係機関の連携（ジェノグラム・エコマップの活用）			
第10回 小テスト			
保育士の行う子育て支援の実際（地域の子育て支援）			
第11回 保育士の行う子育て支援の実際（障害児とその家族支援）			
第12回 保育士の行う子育て支援の実際（育児不安への支援、児童虐待予防）			
第13回 保育士の行う子育て支援の実際（多様なニーズを抱える家庭への支援）			
第14回 現場からの報告（はっぴい mama代表松山由美子様）			
第15回 まとめ			
定期試験			

テキスト 毎回、レジュメを配布する 参考書・参考資料等 1. 「演習・保育と子育て支援」 小原敏郎・橋本好市・三浦主博編集 2019 みらい 2,200円+税 2. 「保育の実践を支える理論と方法」 齊藤勇紀・岩崎保之 編著 2018 ウェストン 700円+税 3. 子育て支援～15のストーリーで学ぶワークブック～」 二宮祐子 2018 萌文書林 1,800円+税 学生に対する評価 小テスト30%、レポート50%、学習態度20%

授業科目名： 子育て支援	教員の免許状取得のための 選択科目	単位数： 1 単位	担当教員名： 齊藤 勇紀
			担当形態：単独
科 目	大学が独自に設定する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等			
授業のテーマ及び到達目標			
1. 国の子育て支援を巡る諸政策の動向を理解する。 2. 都道府県・市町村レベルでの子育て支援策の概要を理解する。 3. 子育て支援施設の見学を通じて、課題を発見する能力を身につける。 4. 適切な子育て支援を行うための実践的な視点を修得する。			
授業の概要			
保護者、地域住民に対する子育て支援は、保育所のみならず、行政諸施策上の重要課題の一つでもある。ここでは、子育て支援の現状と課題について整理を行う。そして、自己の研究テーマを明確にし、子育て支援施設への参与観察、調査などを通じて子育て支援の展開例と関係機関との連携の実際と課題を実践的に学ぶ。			
授業計画			
第1回：オリエンテーション			
第2回：国レベルでの子育て支援政策の動向 - 子育てを支える国の取組 -			
第3回：国レベルでの子育て支援政策の動向 - 子育て家庭への支援体系 -			
第4回：国レベルでの子育て支援政策の動向 - 子育て支援に関連する主な法律 -			
第5回：新潟市における子育て支援政策の動向 - 自治体の役割 -			
第6回：新潟市における子育て支援政策の動向 - 自治体における支援体系 -			
第7回：新潟市における子育て支援政策の動向 - 自治体における具体的な取組 -			
第8回：中間発表会 - 国と自治体における子育て支援 -			
第9回：中間発表会 - 自己研究テーマ -			
第10回：子育て支援施設への参与観察 - 施設の概要・支援者の役割 -			
第11回：子育て支援施設への参与観察 - 自己研究テーマ -			
第12回：子育て支援施設での調査 - 施設の概要・支援者の役割 -			
第13回：子育て支援施設での調査 - 自己研究テーマ -			
第14回：自己研究テーマのまとめ			
第15回：学習のまとめと最終レポートの作成			
テキスト			
テキストは指定せず、内閣府・厚生労働省等の行政資料を活用する。			
参考書・参考資料等			

1. 『教育・保育の基礎理論』中野啓明・佐藤朗子編著、考古堂、2012
2. 『保育者の実践を支える理論と方法』齊藤勇紀・岩崎保之編著、ウエストン、2019年、700円＋税

学生に対する評価

レポート80%、学習態度20%

授業科目名： 社会的養護	教員の免許状取得のための 選択科目	単位数： 2 単位	担当教員名： 藤瀬 竜子
			担当形態：単独
科 目	大学が独自に設定する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等			
授業のテーマ及び到達目標			
1 社会的養護の背景となる子育て家庭の現状を理解する			
2 社会的養護の体系や役割を理解し、施設における子どもの生活を理解する			
3 子どもの人権擁護をふまえ社会的養護の基本を理解する			
4 児童福祉の実践者としての保育士や専門職の役割を理解する			
5 社会的養護の現状と課題を理解する			
授業の概要			
社会的養護の理念や歴史的変遷を学ぶとともに、背景にある社会及び家庭の問題に着目し、現代社会における社会的養護の意義について理解する。法体系、制度について概括し、自立支援、権利擁護の観点から児童の暮らしのあり方について考える。			
授業計画			
第1回 子育て家庭の現状と社会的養護			
第2回 社会的養護の理念と概念			
第3回 社会的養護の意義と歴史的変遷			
第4回 社会的養護の制度、実施体系、対象 1（児童養護施設、地域小規模児童養護施設）			
第5回 社会的養護の制度、実施体系、対象 2（乳児院、母子生活支援施設）			
第6回 社会的養護の制度、実施体系、対象 3（自立援助ホーム、児童自立支援施設）			
第7回 社会的養護の制度、実施体系、対象 4（里親、ファミリーホーム）			
第8回 社会的養護と子どもの人権擁護			
第9回 施設養護における保育士の援助・支援			
第10回 社会的養護の現場からの報告（聖母乳児院長）			
第11回 家庭への支援			
第12回 施設の運営管理			
第13回 児童福祉施設の援助者としての保育士や協働する他の専門職			
第14回 社会的養護の課題(被措置児童の虐待防止・社会的養護と地域福祉・ケアリーバー等)			
第15回 まとめ			
定期試験			

テキスト

「保育士をめざす人の社会的養護」辰巳隆・波田埜英治（株）みらい2012 2000円(税別)

参考書・参考資料等

1. 「事例で学ぶ社会的養護児童のアセスメント」 増沢高 明石書店 2011
2. 「施設養護実践とその内容」 庄司順一、鈴木力、宮島清 福村出版 2011
3. 「演習 児童の福祉を支える社会的養護内容」 編著：吉田眞理 萌文書林 2011
4. 「『日向ぼっこ』と社会的養護」NPO法人社会的養護の当事者参加推進団体 明石書店 2011

学生に対する評価

学生に対する評価

試験60%、レポート30%、学習態度10%

授業科目名： 社会的養護	教員の免許状取得のための 選択科目	単位数： 1 単位	担当教員名： 藤瀬竜子
			担当形態： 単独
科 目	大学が独自に設定する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等			
授業のテーマ及び到達目標			
1 社会的養護における児童の権利擁護や保育士等の倫理について具体的に学ぶ			
2 施設養護や他の社会的養護の実際を理解する			
3 社会的養護にかかわるソーシャルワークの方法と技術を理解する			
4 自立支援計画の作成により、日常生活の支援、治療的支援、自立支援について理解する			
授業の概要			
社会的養護における児童の権利擁護と保育士の倫理及び責務について学ぶとともに、施設養護や家庭的養護の実際について学ぶ。			
また、個々の児童に応じた支援計画を作成することにより日常生活の支援、治療的支援、自立支援について理解し、社会的養護におけるソーシャルワークの方法と技術を理解するとともに、家庭支援、児童家庭福祉、地域福祉への理解を深める。さらに今後の展望や課題として、施設の小規模化や家庭的養護の充実について考える。			
授業計画			
第 1 回 社会的養護の内容 （社会的養育を必要とする子どもの理解・日常生活支援）			
第 2 回 社会的養護の内容 （治療的支援・自立支援）			
第 3 回 施設養護の特性と実際（事例分析～児童養護施設）			
第 4 回 社会的養護児童のアセスメント（児童養護施設） アセスメントの流れと児童の理解			
第 5 回 社会的養護児童のアセスメント（児童養護施設） 背景要因としての情報把握			
第 6 回 社会的養護児童のアセスメント（児童養護施設） 生育暦			
第 7 回 社会的養護に関わる専門的技術とその実践（特別講義：児童養護施設新潟天使園長）			
第 8 回 家庭養護の特性と実際（事例分析～里親 ）			
第 9 回 家庭養護の特性と実際（事例分析～里親 ）			
第 10 回 事例分析と自立支援計画 個人での事例分析			
第 11 回 事例分析と自立支援計画 グループワーク			
第 12 回 事例分析と自立支援計画 発表			
第 13 回 社会的養護の今後の課題と展望 （家庭支援について）			
第 14 回 社会的養護の今後の課題と展望 （社会的養育ビジョンを通して考察する）			
第 15回 まとめ			

テキスト

* 毎授業時に資料を配布します

* 1 年次「社会的養護」で使用したテキスト（「保育士をめざす人の社会的養護」）を持参のこと

参考書・参考資料等

1. 「事例で学ぶ社会的養護児童のアセスメント」 増沢高 明石書店 2011
2. 「施設養護実践とその内容」 庄司順一、鈴木力、宮島清 福村出版 2011
3. 「演習 児童の福祉を支える社会的養護内容」 編著：吉田眞理 萌文書林 2011
4. 「『日向ぼっこ』と社会的養護」NPO法人社会的養護の当事者参加推進団体 明石書店 2011
5. 「今から学ぼう！ライフストーリーワーク 才村真理&大坂ライフストーリー研究会」 福村出版 2016
6. 「施設で育った子どもの自立支援」 高橋亜美ら 明石書店 2015

学生に対する評価

レポート80%、学習態度20%

授業科目名： 人の暮らしと日本国 憲法	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2 単位	担当教員名： 里見 佳香
			担当形態：単独
科 目	教育職員免許法施行規則第 6 6 条の 6 に定める科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	・ 日本国憲法		
授業のテーマ及び到達目標			
・ 法治国家のしくみについて理解し説明することができる。 ・ 日本国憲法の成立経緯や構造等の基本的内容を説明できる。 ・ 自らのもつ権利と義務について考えることができる。			
授業の概要			
本講義は、日本国憲法に関する基礎的な学識の修得を目指すものである。講義では、憲法の意義、日本国憲法の成立に至る歴史的経緯、日本国憲法の理念・基本構造・全体像を解説した後、具体的な憲法訴訟を紹介し、実生活における憲法の意義を議論する。講義後半では、統治のしくみを取り上げる。具体的には、権力分立のあり方を説明したうえで、国会、内閣、裁判所、違憲審査制、財政、地方自治、憲法改正等に関する諸問題を論じる。			
授業計画			
第 1 回：法とはなにか			
第 2 回：日本国憲法の成立			
第 3 回：日本国憲法の基本原理			
第 4 回：基本的人権 1（ 1 ）生命・自由・幸福追求権			
第 5 回：基本的人権 2（ 2 ）法の下での平等			
第 6 回：基本的人権 3（ 3 ）自由権			
第 7 回：基本的人権 4（ 4 ）社会権			
第 8 回：基本的人権 5（ 5 ）参政権、国務請求権			
第 9 回：統治機構 1（ 1 ）三権分立			
第 1 0 回：統治機構 2（ 2 ）立法（国会）			
第 1 1 回：統治機構 3（ 3 ）行政（内閣）			
第 1 2 回：統治機構 4（ 4 ）司法（裁判所）			
第 1 3 回：財政			
第 1 4 回：地方自治 1（ 1 ）地方自治総論			
第 1 5 回：地方自治 2（ 2 ）条例、地方税、住民投票			
定期試験			
テキスト			
『目で見える憲法（第5版）』、初宿正典他、有斐閣、2018年、1,728円。			

参考書・参考資料等
1. 『資料で考える憲法』、谷口真由美編著、法律文化社、2018年、2,808円。
学生に対する評価
試験100%

授業科目名： スポーツ	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 1 単位	担当教員名： 中島 孝子
			担当形態：単独
科 目	教育職員免許法施行規則第 6 6 条の 6 に定める科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	・ 体育		
授業のテーマ及び到達目標 1、生涯スポーツの必要性について理解できる。 2、積極的に運動に取り組み、看護の現場で役立つ体力を身につける。 3、仲間と協力して場の設定や、チーム分け、ルールの取り決めなど自主的に行うことができる。 4、将来にわたって実施可能な自分に適したスポーツを選択し、円滑に行うことができる。			
授業の概要 運動は健康で生き生きと生きていくために欠かせない大切な要素のひとつである。運動の生活化が求められているが、生涯を通してスポーツに親しみ実践していけるかどうかは青年期の取り組み如何による。この授業ではその第一歩として、基礎的な体力づくりのためのトレーニングの方法を学び、自ら運動する習慣を身につけることを目標とする。			
授業計画 第 1 回：ガイダンス 種目についてチーム毎に練習、作戦、試合を実施。 第 2 回：ソフトバレーボール 第 3 回：ドッジボール 第 4 回：バスケットボール 第 5 回：卓球・バドミントン 第 6 回：バレーボール 第 7 回：インディアカ 第 8 回：バスケットボール 第 9 回：バレーボール 第 10 回：卓球・バドミントン 第 11 回：ドッジボール 第 12 回：バスケットボール 第 13 回：卓球・バドミントン 第 14 回：インディアカ 第 15 回：バレーボール大会 レポート			

テキスト

必要に応じてプリント配付。

参考書・参考資料等

特になし。

学生に対する評価

小テスト50%、レポート20%、学習態度30%

授業科目名： スポーツ	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 1 単位	担当教員名： 豊嶋 亜紀子 担当形態：単独
科 目	教育職員免許法施行規則第 6 6 条の 6 に定める科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	・ 体育		
授業のテーマ及び到達目標			
1、生涯スポーツやスポーツ・レクリエーション（ニュースポーツ）を実践することで運動効果の必要性を理解することができる。			
2、修得した技能を活用して、課題を解決するために必要な身体機能、身体感度の把握、思考力、判断力を身につけることができる。			
3、スポーツがコミュニケーションづくりに役立つことを理解することができる。			
4、将来、環境設定の状況（対象者、施設や場所）にあわせて取り組めるスポーツがあることを理解することができる。			
授業の概要			
健全な身体をつくるために運動が必要なことは広く認識されている。本演習では、生涯スポーツやスポーツ・レクリエーション（ニュースポーツ）を教材に、生涯における運動効果の位置づけを確認していく。教育目標は次の通り。			
1、スポーツを通じて、健康な生活を維持増進するための能力、コミュニケーション力、健全な社会参加的態度を身につける。			
2、新しいスポーツを知り、基本的なルールや技術を身につける。			
3、スポーツを楽しんでできる場を創る力をつける。			
授業計画			
第1回：ガイダンス、生涯スポーツ、スポーツ・レクリエーション（ニュースポーツ）の必要性について			
第2回：ウォーキング、ポール・ウォーキング（歩き方、強弱）			
第3回：ウォーキング ポールウォーキング			
第4回：クubb（Kubb）、ラインクubb			
第5回：クubb（Kubb）、ゲーム			
第6回：チャレンジ・ザ・ゲーム： ラダーゲッター、 ネットパスラリー			
第7回：チャレンジ・ザ・ゲーム： ラダーゲッター、 ネットパスラリー			
記録更新にチャレンジ			
第8回：スラックライン 基本			
第9回：スラックライン 基本			
第10回：チャレンジ・ザ・ゲーム： キャッチング・ザ・スティック、 リング・キャッチ			

第11回：チャレンジ・ザ・ゲーム： キャッチング・ザ・スティック、 リング・キャッチ 記録更新にチャレンジ 第12回：キンボールボール 第13回：キンボールボール ゲーム形式で実施 第14回：学習してきた種目を選択し、ゲーム形式実施 第15回：まとめ 学習した生涯スポーツ、スポーツ・レクリエーション（ニュースポーツ）についての グループワーク
テキスト 必要に応じて資料を配布する。
参考書・参考資料等 特になし。
学生に対する評価 小テスト10%、レポート30%、学習態度60%

授業科目名： 英会話	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 1 単位	担当教員名： メギール イーエン ホープ ジェーン タッシュ ダニエル カーキ ティモシー 時田 ケリー 池田 ルース 担当形態：クラス分け単独
科 目	教育職員免許法施行規則第 6 6 条の 6 に定める科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	・ 外国語コミュニケーション		
授業のテーマ及び到達目標			
In this course students with limited English knowledge will develop their ability to use it for communicative purposes and learn experientially that sustained effort and interactivity are crucial for conveying their ideas and feelings to their partner in English. (この授業では、コミュニケーションのための基礎的な英語の力を身につけ、英語で自分の意見と気持ちを相手に伝えることができるようになることを目標とします。)			
授業の概要			
英語を話す力と聞く力を高めるため、ネイティブスピーカーのもとで、日常生活のトピックを中心に学びます。この科目は入学時に実施されるテストによって、能力別クラス編成となります。英会話 と英会話 は履修の順序であり、それ自体がレベルを示すものではありません。			
授業計画			
第 1 回：Introduction: Evaluation policy etc. (イントロダクション、成績評価方針)			
第 2 回：Unit 1: Lifestyles (日常生活)			
第 3 回：Unit 2: Leisure (好きなこと。嫌いなこと)			
第 4 回：Unit 3: Getting along (要求をする、要求に応える)			
第 5 回：Unit 4: Interests (趣味、興味)			
第 6 回：Unit 5: Telling a story (身の回りの出来事)			
第 7 回：Unit 6: Celebrations (お祝い)			
第 8 回：Midterm Exam and review (中間テスト、振り返り)			
第 9 回：Unit 7: Food & drink (食事)			
第 1 0 回：Unit 8: Rules (規則)			
第 1 1 回：Unit 9: Adventure (冒険)			

第12回：Unit 10: Health (健康)

第13回：Unit 11: Comparisons (比較)

第14回：Unit 12: The modern world (現代テクノロジー)

第15回：Review and performance test (復習、パフォーマンステスト)

テキスト

英会話 I A を履修する場合：

Get Real! Student Book 1, McMillan Language House, 2008

Get Real! Workbook 1, McMillan Language House, 2008

を両方とも教科書販売所で購入して、第1回目の授業に持参してください。

英会話 I B を履修する場合：

Get Real! Student Book 2, McMillan Language House, 2008

Get Real! Workbook 2, McMillan Language House, 2008

を両方とも教科書販売所で購入して、第1回目の授業に持参してください。

英会話 I C を履修する場合：

Get Real! Student Book 3, McMillan Language House, 2008

Get Real! Workbook 3, McMillan Language House, 2008

を両方とも教科書販売所で購入して、第1回目の授業に持参してください。

参考書・参考資料等

特になし。

学生に対する評価

小テスト50%、学習態度50%

授業科目名： 英会話	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 1 単位	担当教員名： メギール イーエン ホープ ジェーン タッシュ ダニエル カーキ ティモシー 時田 ケリー 池田 ルース 担当形態：クラス分け単独
科 目	教育職員免許法施行規則第 6 6 条の 6 に定める科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	・ 外国語コミュニケーション		
授業のテーマ及び到達目標			
Designed for false beginners, this course will enable students who already possess some knowledge of vocabulary and English grammar to become more proficient and comfortable when using this knowledge in actual communication with others. (この授業では、英語の語彙と文法に関する基礎的な知識と技能がある者が、より流暢に自信をもって、英語によるコミュニケーションを取れるようになることを目標とします。)			
授業の概要			
英語を話す力と聞く力を高めるため、中級レベルの教材を用いて、ネイティブスピーカーのもとで、日常生活のトピックを中心に学びます。この科目は「英会話Ⅰ」とともに、能力別クラス編成です。受講には「英会話Ⅰ」の単位修得、あるいはTOEIC470以上（または英検準2級合格）が必要です。TOEIC600以上（または英検2級合格）の者は、この科目の単位が認定されます。			
授業計画			
第1回：Introduction: Evaluation policy etc.（イントロダクション、成績評価方針）			
第2回：Unit 1: Talking about memories（思い出）			
第3回：Unit 2: Talking about events that have changed your life（人生を変えた出来事）			
第4回：Unit 3: Expressing your opinions（意見を述べる）			
第5回：Unit 4: Talking about problems in your life（困ったこと）			
第6回：Unit 5: Predicting future events in your life（未来の予測）			
第7回：Unit 6: Talking about future plans（将来の計画）			
第8回：Mid-term exam and review（中間テスト、振り返り）			
第9回：Unit 7: Talking about people, places and things（人・場所・事）			
第10回：Unit 8: Talking about your experience（経験）			
第11回：Unit 9: Talking about feelings and opinions（感情と意見）			

第12回 : Unit 10: Talking about wishes and possibilities (望みと可能性)

第13回 : Unit 11: Making deductions (推論)

第14回 : Unit 12: Talking about key events from the past (過去の重要な出来事)

第15回 : Review and performance test (復習、パフォーマンステスト)

テキスト

英会話 II A を履修する場合 :

Get Real! Student Book 1, McMillan Language House, 2008

Get Real! Workbook 1, McMillan Language House, 2008

を両方とも教科書販売所で購入して、第1回目の授業に持参してください。

英会話 II B を履修する場合 :

Get Real! Student Book 2, McMillan Language House, 2008

Get Real! Workbook 2, McMillan Language House, 2008

を両方とも教科書販売所で購入して、第1回目の授業に持参してください。

英会話 II C を履修する場合 :

Get Real! Student Book 3, McMillan Language House, 2008

Get Real! Workbook 3, McMillan Language House, 2008

を両方とも教科書販売所で購入して、第1回目の授業に持参してください。

英会話 II D を履修する場合 :

テキストがありません。

先生からお配りするプリントで授業を行います。

参考書・参考資料等

特になし。

学生に対する評価

小テスト50%、学習態度50%

授業科目名： I T 活用演習	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 1 単位	担当教員名： 南雲 秀雄
			担当形態：単独
科 目	教育職員免許法施行規則第 6 6 条の 6 に定める科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	・ 数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作		
授業のテーマ及び到達目標			
・ 収集した情報を整理・分析し、結果を客観的に読み取り、かつ論理的に考察できる。 ・ 生活課題を発見し、その解決に必要な情報を分析・考察できる。 ・ 技術の進歩と変化に適切に対応できる能力を身に付けている。 ・ クラウドを安全にかつ有効に活用できる。			
授業の概要			
近年インターネットおよび情報機器の進化により我々の生活が急速に変化しつつある。中でもクラウドに代表されるグループで情報を共有できるサービスは、大学での学習形態も変化させている。この授業では様々なウェブ上のサービスや情報機器上のソフトウェアを有効に活用してアクティブな学習活動を行う方法を学習する。特にクラウドでは個人情報の漏洩等のセキュリティ上の危険があるので、セキュリティを確保する方法も学習する。			
授業計画			
第1回：ガイダンス、電子教科書の使用方法、印刷の仕方、N-COMPASSの使用方法、Moodleの使用方法、タッチタイプ、G Suiteの使用方法			
第2回：学習のためのシステム			
第3回：ビジネス文書のポイントを押さえる			
第4回：表で分かりやすくまとめる			
第5回：図で魅せる			
第6回：レポートとして文章を整理する			
第7回：Wordのまとめ			
第8回：書式を付けて見やすく編集			
第9回：「厳選」関数を使いこなす			
第10回：伝わるグラフを作成する			
第11回：データベースを活用する			
第12回：視点を変えて集計する			
第13回：Excelのまとめ			
第14回：見やすいスライドを作る			
第15回：魅力的に仕上げる			

テキスト

『実践ドリルで学ぶ Office活用術2016対応 演習問題全173題』電子書籍、noa出版、2016年、1,204円＋税

参考書・参考資料等

1. 情報セキュリティ読本 五訂版: IT時代の危機管理入門、情報処理推進機構、実教出版、2018年、600円＋税
2. Excelピボットテーブル作成超入門、木村幸子、技術評論社、2,400円＋税

学生に対する評価

小テスト80%、その他20%

授業科目名： I T 活用演習	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 1 単位	担当教員名： 南雲 秀雄
			担当形態：単独
科 目	教育職員免許法施行規則第 6 6 条の 6 に定める科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	・ 数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作		
授業のテーマ及び到達目標			
・ 処理しやすいデータの形式について説明できる。			
・ データから意思決定に必要な情報を取り出す方法を説明できる。			
・ データベースマネジメントシステムを適切に使用することができる。			
・ データベースマネジメントシステムと他のソフトウェアの連携を行うことができる。			
授業の概要			
現代は生活のあらゆるところに情報技術が浸透しており、その使用方法の習得レベルが大学での学習活動にも影響を及ぼす。そこでこの演習では、情報を効果的・効率的に活用するスキルの修得をめざす。具体的には、データを処理しやすい構造にまとめる方法、データから効率よく情報を取り出す方法、情報を効果的に分かりやすく提示する方法等を学習する。そのために、表計算ソフト、データベースソフト、統計ソフト等を使用する。			
授業計画			
第 1 回：データベースを使ってみる：Excel の DB 的使い方、Access を使ってみる			
第 2 回：住所録（ 1 ）：Access のオブジェクト			
第 3 回：住所録（ 2 ）：テーブルの編集			
第 4 回：住所録（ 3 ）：クエリを使ってみる			
第 5 回：住所録（ 4 ）：リレーションシップ			
第 6 回：小遣い帳（ 1 ）：データのインポート			
第 7 回：小遣い帳（ 2 ）：クエリでの集計			
第 8 回：小遣い帳（ 3 ）：クエリの操作			
第 9 回：小遣い帳（ 4 ）：フォームの編集			
第 1 0 回：帳票（ 1 ）：画像の使用			
第 1 1 回：帳票（ 2 ）：マクロの作成			
第 1 2 回：帳票（ 3 ）：印刷機能			
第 1 3 回：ソーシャルワーク依頼表（ 1 ）：テーブルからクエリまで			
第 1 4 回：ソーシャルワーク依頼表（ 2 ）：レポートの作成			
第 1 5 回：ソーシャルワーク依頼表（ 3 ）：レポートの編集			
テキスト			
無し。Elearn 上に教材を提示します。			

参考書・参考資料等
1. 『今すぐ使えるかんたん Access 2016』井上香緒里、技術評論社、1,880円 + 税
学生に対する評価
小テスト60%、その他40%

授業科目名： 教育本質論	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2 単位	担当教員名： 中野 啓明
			担当形態：単独
科 目	教育の基礎的理解に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	・ 教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想		
授業のテーマ及び到達目標			
1．代表的な教育学上の諸思想や諸理論を理解し、その特徴を指摘することができる。 2．教育法規における目標系列を理解し、学校の教育目標設定までの過程を指摘することができる。			
授業の概要			
教育学上の諸思想や諸理論に見られる教育作用の本質、経験と体験、学校の教育目標などについて、教育上の実践的諸問題をもとに概説する。 具体的には、陶冶概念の変遷過程、子ども観の変遷過程等をとおして、代表的な教育学上の諸思想や諸理論における教育の目的及び教育作用の本質に関する理解を目指す。また、教育基本法や学校教育法、学習指導要領等をもとに、教育法規における教育目標の目標系列の理解を目指す。			
授業計画			
第1回：オリエンテーション			
第2回：教育の基本構造（1） - 陶冶、教化 -			
第3回：教育の基本構造（2） - 形成、インドクトリネーション批判 -			
第4回：陶冶概念の変遷（1） - 実質陶冶と形式陶冶 -			
第5回：陶冶概念の変遷（2） - 転移概念 -			
第6回：陶冶概念の変遷（3） - J.ブルーナーの教育理論 -			
第7回：教育のモデル化（1） - 素材モデルの子ども観・J.ロックの教育思想 -			
第8回：教育のモデル化（2） - 作物モデルの子ども観・J.J.ルソーとF.W.Aフレーベルの教育思想 -			
第9回：教育のモデル化（3） - 作物モデルの子ども観・J.デューイの教育理論 -			
第10回：教育のモデル化（4） - 作物モデルの子ども観・デューイの経験概念―			
第11回：教育のモデル化（5） - 人間モデルの子ども観・N.ノディングズのケアリング教育論 -			
第12回：教育法規における目標系列（1） - 教育の目的・目標 -			
第13回：教育法規における目標系列（2） - 義務教育の目的・目標 -			
第14回：学校の教育目標 - 学校教育の目標と学校の教育目標 -			
第15回：授業のまとめと学習内容の確認			

定期試験**テキスト**

教育・保育の基礎を学ぶ―子どもの育ちを支える理論と実践―、岩崎保之編著、国際文献社、2017

参考書・参考資料等

1. 幼稚園教育要領、文部科学省、2017 小学校学習指導要領、文部科学省、2017
2. 保育を支えるカリキュラム・マネジメントの理論と実践、齊藤勇紀・岩崎保之編著、ウェストン、2020
3. 幼児教育の基礎を学ぶ、中野啓明・伊藤充編著、大創パブリッシング、2022
4. 授業の腕を上げる法則、向山洋一、学芸みらい社、2015

学生に対する評価

試験30%、小テスト30%、レポート30%、学習態度10%

授業科目名： 保育者論	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2 単位	担当教員名： 伊藤 充
			担当形態：単独
科 目	教育の基礎的理解に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	・教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		
授業のテーマ及び到達目標			
1．幼児教育の目的とその担い手である幼稚園教諭等の保育者（以下「保育者」）の社会的意義を述べることができる。			
2．今日の保育者に求められている役割を理解し、それを担うための基礎的な資質能力を述べることができる。			
3．幼児の保育や保育以外の園務を含めた職務内容の全体像や、専門性を高める研修の重要性について理解するとともに、職務上・身分上の義務及び身分保障について述べることができる。			
4．同僚の保育者や保護者、専門家等と連携・分担し、チームとして組織的に対応する重要性について述べることができる。			
授業の概要			
保育者の社会的意義、役割と倫理、保育者の制度的位置づけ（資格、要件、責務等）、保育者の職務内容（養護と教育、保育者の資質・能力、知識・技術及び判断、保育の省察、教育課程による保育の展開と自己評価、身分上の義務等）、保育者の連携・協働（保育と保護者支援にかかわる協働、専門職間及び専門機関との連携、保護者及び地域社会との協働等）について、文献、法令・法規、答申等の資料に基づいて概説する。			
授業計画			
第1回：ガイダンス、幼児教育の目的			
第2回：保育者の社会的意義　：近現代における公教育の担い手としての存在意義			
第3回：保育者の社会的意義　：子どもにかかわる様々な職業と進路選択			
第4回：保育者の役割と資質能力　：教職観の変遷と教職の今日的役割			
第5回：保育者の役割と資質能力　：教育に求められる資質能力			
第6回：保育者の役割と資質能力　：子どもを見る・受け容れる・育てる力			
第7回：保育者の職務内容　：幼児保育の全体像と実際			
第8回：保育者の職務内容　：保育の一年・一日・一瞬			
第9回：保育者の職務内容　：幼児保育以外の職務			
第10回：保育者の研修　：保育者の職務と保育者の専門性			
第11回：保育者の研修　：社会の変化と生涯にわたって学び続ける保育者			
第12回：保育者の職務上・身分上の義務　：身分と勤務			

第13回：保育者の服務上・身分上の義務：服務と社会規範

第14回：チームとしての組織的取り組み：チーム園、保護者との連携

第15回：チームとしての組織的取り組み：関係諸機関・地域と連携した取り組み

テキスト

- 1．幼児教育の基礎を学ぶ、中野啓明・伊藤充編著、大創パブリッシング、2022
- 2．保育者の源流 赤澤ナカ - 日本最初の保育所の保母 -、伊藤充著、ウエストン、2022
- 3．幼稚園教育要領解説、文部科学省、フレーベル館、2018

参考書・参考資料等

- 1．子どもと出会う保育学、西隆太郎、ミネルヴァ書房、2018
- 2．あらゆる学問は保育につながる、山邊昭則他、東京大学出版会、2016

学生に対する評価

最終レポート50%、小レポート30%、学習態度20%

授業科目名： 教育制度論	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2 単位	担当教員名： 伊藤 充
			担当形態：単独
科 目	教育の基礎的理解に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連 携及び学校安全への対応を含む。)		
授業のテーマ及び到達目標			
1 公教育の原理やそれを支える教育法規、教育行政制度の変遷や現在の教育制度を理解し、 教育制度をめぐる諸課題について述べることができる。			
2 教育行政機関・学校の目的、効果的な経営・運営のための仕組みやP D C Aサイクルの活用 、学級経営の方法など教育の経営的事項について事例をあげて説明することができる。			
3 地域と連携・協働した学校教育活動や開かれた学校づくりについて、事例をあげて説明す ることができる。			
4 危機管理や事故対応を含む学校安全の必要性について理解し、学校を取り巻く新たな安全 上の課題に対して安全管理と安全教育の両面から具体的に意見を述べることができる。			
授業の概要			
現在の学校教育に関する制度的事項や経営的事項について基礎的な知識を身に付けさせると ともに、学校教育の課題である学校・保護者・地域が連携・協働した取り組みや、学校安全の取 り組みに関して実践例に即して学ぶ。			
授業計画			
第 1 回：教育を制度的に見る	公教育の及び理念と近代教育制度の歴史		
第 2 回：教育を制度的に見る	教育関係法規（ 1 ）日本国憲法・教育基本法・学校教育法		
第 3 回：教育を制度的に見る	教育関係法規（ 2 ）学校保健安全法・教育職員特例法・社会教育法		
第 4 回：教育を制度的に見る	教育関係法規（ 3 ）地教行法・児童福祉法・教育職員免許法等		
第 5 回：教育を制度的に見る	教育行政の理念と仕組み		
第 6 回：教育を制度的に見る	教育制度をめぐる諸課題		
第 7 回：教育を経営的に見る	教育行政機関や学校の目的と運営		
第 8 回：教育を経営的に見る	教育活動における P D C A の重要性		
第 9 回：教育を経営的に見る	学級経営の仕組みと方法		
第 1 0 回：教育を経営的に見る	教職員と学校外関係者・関係機関との連携・協働の重要性		
第 1 1 回：学校と地域との連携・協働	地域との連携による教育活動の意義と方法		
第 1 2 回：学校と地域との連携・協働	開かれた学校づくり（ 1 ）地域・関係機関との連携・協働		
第 1 3 回：学校と地域との連携・協働	開かれた学校づくり（ 2 ）新潟市における学社民融合による		
教育の推進			
第 1 4 回：学校安全への対応	学校安全の重要性（危機管理と事故対応）		

第15回：学校安全への対応 安全管理と安全教育の両面から取り組む重要性
定期試験

テキスト

1. 『教育小六法＜令和4年版＞』市川須美子他編、学陽書房、2022
2. 「生きる力」をはぐくむ学校での安全教育（改訂版）（平成22年 文部科学省）

参考書・参考資料等

1. 『幼児教育の基礎を学ぶ』中野啓明・伊藤充編著、大創パブリッシング、2022
2. 官立新潟師範学校と82人の卒業生 - 明治期教育制度確立に果たした役割 - 、伊藤充、ウェストン、2022

学生に対する評価

定期試験40%、小テスト15%、レポート20%、学習態度25%

授業科目名： 教育・学校心理学	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2 単位	担当教員名： 佐藤 朗子 担当形態：単独
科 目	教育の基礎的理解に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	・ 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		
授業のテーマ及び到達目標 幼児期から青年期までの発達や学習の過程を理解し、学びを促すための環境構成、指導法等について理解する。 １．幼児期から青年期までの各発達段階の特徴と発達課題について理解する。また発達を見通すための代表的な理論を理解し、比較対象させながら概要を説明することができる。 ２．子どもの学びや学習の成立に関する代表的理論を理解し、比較対象させながらそれらの概要を説明することができる。 ３．教育現場・保育現場において子どもの発達を支え、効果的な学びを成立させるための、援助や指導の方法について代表的な技法を理解し、概要を説明することができる。			
授業の概要 幼児期から青年期までの発達や学習の過程を理解し、学びを促すための環境構成、指導法等について理解する。「発達」と「学習」の概念を比較対象させて理解し、その両方の視点を持ちつつ意図的な働きかけを行うことの重要性を学ぶ。子どもの個人差を考慮に入れた援助・指導の理論と具体的方法について整理して理解し、そのプロセスを評価するための基本的枠組みを身につける。			
授業計画 第 1 回：心理学における教育心理学、発達と学習 第 2 回：発達とは、生得的要因と経験の相互作用、初期経験の意味、発達段階論 第 3 回：学習とは、経験による変容、学習の消去、発達概念との対比、学習のレディネス 第 4 回：幼児から青年期までの身体機能・言語・認知能力の発達の様相と発達理論 第 5 回：幼児から青年期までの自己と社会性の発達の様相と発達理論 第 6 回：幼児の学び、児童・生徒の学習の成立に関する理論 行動主義的学習理論 第 7 回：幼児の学び、児童・生徒の学習の成立に関する理論 認知心理学的理論、状況論 第 8 回：学びを促進する教師 / 保育者の関わり、プログラム学習、発見学習、受容学習 第 9 回：動機づけの種類と要因、動機づけの発達と援助・指導、自律的動機づけの獲得 第 1 0 回：仲間集団の発達と教師 / 保育者による調整と介入、教師の子ども観と集団づくり 第 1 1 回：能動的で協働的な学びへの援助と指導、アクティブ・ラーニング、遊びの中での成長 第 1 2 回：発達と学習の個人差、発達障害の理解、教室におけるユニバーサルデザイン 第 1 3 回：プロセスとしての教育評価、絶対評価と相対評価、評価の規準と基準			

第14回：個性の理解とカウンセリングマインド、援助の意図と成果の評価

第15回：保護者の理解、教師／保育者の連携、家庭や他機関との連携

定期試験

テキスト

『やさしい教育心理学 第5版』鎌原雅彦・竹綱誠一郎（著）有斐閣アルマ 2019年（1900円）

参考書・参考資料等

『平成30年施行 保育所保育指針 幼稚園教育要領 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 解説とポイント』 汐見稔幸・無藤隆（監修） ミネルヴァ書房 2018年（1500円）

学生に対する評価

定期試験（50％）、各回の授業参加と提出課題（50％）

授業科目名： 発達心理学	教員の免許状取得のための 選択科目	単位数： 2 単位	担当教員名： 佐藤 朗子
			担当形態：単独
科 目	教育の基礎的理解に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	・ 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		
授業のテーマ及び到達目標			
子どもの心身の発達や行動の発達の変容に関する心理学的知識を身につける。			
１．認知能力・ことば・社会性などの主要な領域における発達の変容の概要を理解し、説明することができる。			
２．各発達段階における各領域の発達の連関をイメージし、説明することができる。			
３．主要な概念（キーワード）を、複数の異なる文脈で理解し、説明することができる。			
４．子どもと関わる際の、親を含めたおとなの側の発達課題について説明することができる。			
授業の概要			
子どもの心身の発達や行動の変容に関する心理学的知識を整理しながら身につける。子どもが周囲の人々や社会・文化と能動的に関わりながら成長していく様子について具体的材料をもとに理解する。また、保護者や保育者も各々の発達課題に取り組む一人の人間であることを理解し、これらを踏まえた上で、健全な発達を支える援助のあり方について心理学的視点から考える。			
授業計画			
第１回：生涯発達理論における人生段階と発達課題、親としての成長、保育者としての成長			
第２回：認知能力の発達(1) 身体機能、感覚運動機能の発達と認知発達、ピアジェの認知発達理論			
第３回：認知能力の発達(2) 数量の保存、概念形成、就学への移行、4歳の壁、9歳の壁			
第４回：認知能力の発達(3) 心の理論の獲得、他者の意図への関心、対人葛藤への対処			
第５回：愛着の発達(1) 愛着の機能、愛着の発達段階、人見知り、後追い、愛着の個人差			
第６回：愛着の機能(2) 愛着の障害、児童虐待、愛着の生涯発達			
第７回：ことばの発達(1) 三項関係、象徴機能、概念形成			
第８回：ことばの発達(2) 一次的ことば、二次的ことば、言語発達の障害			
第９回：発達の個人差 発達障害、情報処理スタイルの個人差、愛着形成の支援			
第１０回：遊びの機能と発達 発達段階と遊びの特徴、モノと人、遊びと生活、遊びの展開			
第１１回：仲間関係と遊び ヨコの関係、仲間集団の発達、対人的スキル、道徳的判断			
第１２回：他者視点の発達 共感性と視点取得能力の発達、相互交渉方略の発達			
第１３回：自己の発達 身体的自己、意図の出現、「イヤイヤ期」、自己概念の発達			
第１４回：発達の諸側面の連関 認知能力の発達、社会性の発達、自己の発達の相互連関の理解			
第１５回：思春期から青年期へ 第二性徴、親子関係の変化、自己概念のゆらぎ、アイデンティティ			

定期試験
テキスト 『ベーシック発達心理学』 開一夫・齋藤慈子（編）東京大学出版会 2018年（2400円）
参考書・参考資料等 1. 乳幼児心理学（保育ライブラリ） 無藤隆・岩立京子 北大路書房 2003 2. 児童心理学への招待改訂版 小嶋秀夫・森下正康 サイエンス社 2004 3. 発達心理学（新保育ライブラリ） 無等隆・藤崎真知代
学生に対する評価 小テスト（30％）、定期試験（40％）、各回の授業参加と提出課題（30％）

授業科目名： 特別の支援を必要とする乳幼児の保育	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2 単位	担当教員名： 齊藤 勇紀 担当形態：単独
科 目	教育の基礎的理解に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	・ 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		
授業のテーマ及び到達目標			
特別支援教育・障害児保育の意義や特徴を理解し、特別の支援を必要とする幼児の学び、生活上の困難や課題を理解する。さらに教育・保育実践に必要な保育者の知識や援助方法、園内・関係機関との組織的な連携に必要な知識や支援方法を理解する。			
1.特別支援教育と障害児保育を支える理念や歴史的変遷について説明することができる。			
2.子どもの障害、発達特性を踏まえ、教育課程、園の計画、年間指導計画等の構造を理解した上で、個々の子どもの学びに即した個別の指導計画を立案することができる。			
3.個別の指導計画に基づき、インクルーシブ保育を可能にするための条件や配慮について考察することができる。			
4.子どもと保護者の願いに適合した支援の方法を提案することができる。			
5.保育者，保護者，関係機関との連携や協働による支援のあり方を説明することができる。			
授業の概要			
特別支援教育・障害児保育を支える理念や歴史的変遷について学び、現状や課題、家庭や関係機関との連携について理解する。また、様々な障害について理解を深め、個々の障害特性や発達に応じた援助や配慮を理解し、インクルーシブ教育・保育及び合理的配慮を学ぶ。園の計画による集団包括的な視点と障害児や特別な配慮を要する子どもの姿を個別的な視点から捉える記録・評価により、個々の子どもの学びに即した個別の指導計画を作成する。家庭、保育者同士、関係機関との連携にとどまらず、協働による組織的な支援の在り方を理解する。			
授業計画			
第 1 回：特別支援教育と障害児保育を支える理念・制度 （障害の概念・歴史的変遷・障害者権利条約）			
第 2 回：特別支援教育と障害児保育を支える理念・制度 （インクルーシブ教育システム・合理的配慮）			
第 3 回：教育・保育場面で出会う様々な子どもの理解と教育・保育			
第 4 回：肢体不自由児の理解と教育・保育			
第 5 回：視覚障害児の理解と教育・保育			
第 6 回：聴覚障害児の理解と教育・保育			
第 7 回：知的能力障害の理解と教育・保育			
第 8 回：注意欠陥・多動症の理解と教育・保育			

第9回：限局学習症の理解と教育・保育

第10回：自閉スペクトラム症の理解と教育・保育

第11回：言語障害児の理解と教育・保育

第12回：特別なニーズ（多国籍家庭・貧困・養育上の問題等）が必要な子どもの理解と教育・保育

第13回：保育所・幼稚園・認定こども園における個に応じた発達支援

第14回：児童発達支援における個に応じた発達支援

第15回：前期のまとめ

第16回：小学校との接続（就学相談，特別支援学校，特別支援学級，通級指導，通常学級）

第17回：学齢期の特別支援教育（自立活動、個別の指導計画、個別の支援計画、特別支援教育コーディネーター）

第18回：関係機関との連携・協働

第19回：保護者や家族に対する理解と支援（子どもの誕生と障害、障害の受容とケア）

第20回：保護者や家族に対する理解と支援（子育て支援、親との面談、家庭でのかかわり）

第21回：教育課程、園の計画の構造と個別の指導計画（カリキュラムマネジメント）

第22回：発達検査・知能検査による発達特性の把握

第23回：子どもの学びに即した包括的な記録・評価モデル（社会文化的視点による記録・評価）

第24回：子どもの学びに即した包括的な記録・評価モデル（行動論的視点による記録・評価）

第25回：保育者間の連携・協働と園内支援体制及び園内研修

第26回：事例検討（早期からの発達支援と保護者支援）

第27回：事例検討（就園後から就学までの支援）

第28回：個別の指導計画の作成

第29回：個別の指導計画の作成

第30回：まとめ

テキスト

1. 知のゆりかご『ライフステージを見通した障害児保育と特別支援教育』小林徹先生・栗山宣夫（編著）．2020．2,400円（税別）

2. 『幼稚園教育要領解説』 文部科学省，フレーベル館，2018．240円（税別）

3. 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』 内閣府・文部科学省・厚生労働省，フレーベル館，2018．350円（税別）

4. 『保育所保育指針解説』 厚生労働省，フレーベル館，2018年．320円（税別）

参考書・参考資料等

1. 障がい児保育の基本と課題 井村圭壯・今井慶宗（編） 2016 学文社

2. 発達が気になる乳・幼児のこころ育て、ことば育て 有川宏幸 2015 ジアーズ教育新社

3. 応用行動分析学から学ぶ子ども観察力&支援力養成ガイド 平澤紀子（編） 2010 学研

4. 神経発達障害のすべてDSM - 5対応 森則夫・杉山登志郎（編） 2014 日本評論社
5. 発達障害ガイドブック 東條恵 2005 考古堂書店
6. 発達相談と新版K式発達検査 子ども家族支援に役立つ知恵と工夫 大島剛他 2013 明石書店
7. 保育者の実践を支える理論と方法 齊藤勇紀・岩崎保之編著、ウエストン、2019年、700円＋税
8. 保育を支えるカリキュラムマネジメントの理論と実践 齊藤勇紀・中野啓明（編著）．ウエストン，2020．750円（税別）

学生に対する評価

定期試験70%、レポート30%

授業科目名： 保育の計画と評価	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2 単位	担当教員名： 伊藤 充
			担当形態：単独
科 目	教育の基礎的理解に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	・教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		
授業のテーマ及び到達目標			
1．幼稚園教育要領等の変遷・改訂を踏まえ、カリキュラム（教育課程）が果たす意義・役割・機能を説明することができる。			
2．カリキュラムの編成原理を理解し、幼児等の実態を踏まえたカリキュラムの編成方法を説明することができる。			
3．カリキュラム評価の基礎的な考え方を理解するとともに、幼児教育全体のカリキュラム・マネジメントの意義と重要性について説明することができる。			
授業の概要			
幼稚園教育要領等を基準に編成される各園のカリキュラム（教育課程）の目的・機能・意義を実例をもとに概説するとともに、カリキュラム編成の基本原則や教育・保育実践に即したカリキュラムの編成・実施・評価などカリキュラム・マネジメント全体について実践的に修得できるようにする。			
授業計画			
第1回：カリキュラム（教育課程）役割と位置付け			
第2回：カリキュラムの目的とカリキュラムの意義			
第3回：社会の変化とカリキュラムの変遷・改定			
第4回：カリキュラムの類型と社会において果たしている役割			
第5回：カリキュラムの編成方法　：カリキュラムの基本原則と実例			
第6回：カリキュラムの編成方法　：年齢ごとの計画と全体への位置づけ			
第7回：カリキュラムの編成方法　：教育内容の選択と環境構成、その実際			
第8回：カリキュラムの編成方法　：一日の指導計画作成と全体への位置づけ			
第9回：カリキュラムの編成方法　：小学校の教育内容との連続性を見据えたカリキュラムの編成			
第10回：カリキュラムの編成方法　：地域の実態に即したカリキュラムの編成			
第11回：カリキュラムの編成方法　：幼稚園の実態に即したカリキュラムの編成			
第12回：カリキュラム・マネジメント　：カリキュラム・マネジメントの意義と重要性、考え方			
第13回：カリキュラム・マネジメント　：評価の基礎的考え方と実際			
第14回：カリキュラム・マネジメント　：マネジメントの評価とチーム幼稚園			
第15回：カリキュラム・マネジメント　：小学校と連携したマネジメントの実際			
テキスト			

1．幼児教育の基礎を学ぶ、中野啓明・伊藤充編著、大創パブリッシング、2022

2．幼稚園教育要領解説、文部科学省、2018

参考書・参考資料等

1．保育を支えるカリキュラム・マネジメントの理論と実践、齊藤勇紀、中野啓明編、ウエストン、2020

2．幼保連携型認定こども園教育・保育要領、内閣府等、2018年

3．保育所保育指針解説、厚生労働省、2018年

学生に対する評価

レポート70%、学習態度30%

授業科目名： 教育方法論	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2 単位	担当教員名： 中野 啓明 授業形態：講義
科 目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	・教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)		
授業のテーマ及び到達目標			
１．これからの社会を担う子ども達に求められる資質・能力を育成するために必要な教育の方法を説明できる。			
２．指導案を作成したり、授業実践・保育実践を分析する方法を説明できる。			
３．情報機器を活用した効果的な教育実践や適切な教材の作成・活用方法を説明できる。			
授業の概要			
これからの社会を担う子ども達に求められている資質・能力を育むために必要となる、教育の方法、教育の技術、情報機器及び教材の活用に関する基礎的な知識・技能を概説する。具体的には、学習指導要領・幼稚園教育要領等に拠りながら、コンピテンシーとしての資質・能力の育成や主体的・対話的で深い学びの実現が求められていることを概説する。また、教育方法の基礎的な理論としての問題解決学習や発見学習、プログラム学習等の学習方法の系譜を学ぶと共に、小学校における発問を例としながら子どもの考えを引き出す教師の指導の在り方を論ずる。さらに、目標・内容、教材・教具、授業・保育展開、評価の基礎的な考え方等の指導案作成上の留意点を論ずる。さらにまた、GIGAスクール構想後の小学校等にICTの活用の実際を参照しつつ、実際例に基づきながら幼児教育におけるICT等の情報機器の活用の在り方を探る。			
授業計画			
第１回：コンテンツ・ベースからコンピテンシー・ベースのカリキュラムへの転換			
第２回：主体的・対話的で深い学びの実現			
第３回：教育方法の諸理論			
第４回：授業・保育を構成する基本的な要素			
第５回：子どもの考えを引き出す発問の理論と技術 - 知覚の言語、間接性の原理 -			
第６回：子どもの考えを引き出す発問の理論と技術 - 選択語の原理、対比 -			
第７回：指導案の構成要素			
第８回：指導案の実際例			
第９回：授業・保育における評価の考え方			
第１０回：授業実践・保育実践を分析する視点			
第１１回：教育においてICTを活用することの意義			

第12回：小学校以上の学校教育におけるICT活用の実際

第13回：幼児教育におけるICT活用の実際

第14回：ICTを活用した教材等の作成

第15回：授業のまとめと最終レポートの作成

テキスト

幼稚園教育要領解説、文部科学省、2018

幼児理解に基づいた評価、文部科学省、2019

幼児教育の基礎を学ぶ、中野啓明・伊藤充編著、大創パブリッシング、2022

参考書・参考資料等

1. GIGAスクールに対応した小学校道徳ICT活用BOOK、中野啓明編著、明治図書、2021

2. 新版 授業の腕をあげる法則、向山洋一、学芸みらい、2015

3. 教育の情報化に関する手引、文部科学省、2020

学生に対する評価

最終レポート30%、毎回実施する小テストまたは小レポート60%、学習態度10%

授業科目名： 子どもの理解と援助	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 1 単位	担当教員名： 中野 啓明 佐藤 朗子 齊藤 勇紀 担当形態：オムニバス・複数
科 目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	・ 幼児理解の理論及び方法		
授業のテーマ及び到達目標			
1．保育実践において，実態把握に応じた子ども一人一人の心身の発達や学びを把握することの意義について説明することができる。			
2．子どもの体験や学びの過程にいて子どもを理解する上での基本的な考え方を説明することができる。			
3．子どもを理解するための方法を説明することができる。			
4．子どもの理解に基づく保育者の援助や基本的な態度について説明することができる。			
授業の概要			
保育実践においては、子ども一人一人の心身の発達や特性、体験によって得られる学びの過程を理解することが重要である。本講義では、子どもを理解するための具体的な方法を理解し、実態に応じた保育者の援助方法、基本的な態度を身につける。			
(オムニバス方式 / 全15回)			
(佐藤朗子 / 3回)			
保育実践における子ども理解の意義とその基本的な枠組みについて、概説する。			
(中野啓明 / 5回)			
保育の実際場面をもとに、子どもを理解する視点と方法について、概説する。			
(齊藤勇紀 / 5回)			
保育場面における、子どもの理解に基づく発達援助について、概説する。			
(佐藤朗子 / 中野啓明 / 齊藤勇紀 / 2回) (共同)			
第1回は、講義概要、授業計画に基づき、各教員が担当する授業内容の概略を概説する。第15回は、各教員が担当した授業内容の要点と各回の関連性を概説し、本授業のまとめを行う。			
授業計画			
第1回：オリエンテーション (担当：全教員)			
第2回：子ども理解の意義と枠組み 1 - 子どもの個人差、仮説の構築、援助の意図 - (担当：佐藤朗子)			

第3回：子ども理解の意義と枠組み2 - 発達と学習、代表的な発達モデル、代表的な学習モデル - (担当：佐藤朗子)

第4回：子ども理解の意義と枠組み3 - 共感的理解、アタッチメント、仲間関係の中での発達 - (担当：佐藤朗子)

第5回：子どもを理解する視点・方法1 —子どもを理解する目的と方法— (担当：中野啓明)

第6回：子どもを理解する視点・方法2 - 3歳児の姿 - (担当：中野啓明)

第7回：子どもを理解する視点・方法3 - 4歳児の姿 - (担当：中野啓明)

第8回：子どもを理解する視点・方法4 - 5歳児の姿 - (担当：中野啓明)

第9回：子どもを理解する視点・方法5 - 幼保小の連携 - (担当：中野啓明)

第10回：子どもの理解に基づく発達援助 - 保育者の専門性と発達援助 - (担当：齊藤勇紀)

第11回：子どもの理解に基づく発達援助 - 観察、記録、省察、評価 - (担当：齊藤勇紀)

第12回：子どもの理解に基づく発達援助 - 特別な配慮を必要とする子どもの理解 - (担当：齊藤勇紀)

第13回：子どもの理解に基づく発達援助 - 職員間の連携・協働 - (担当：齊藤勇紀)

第14回：子どもの理解に基づく発達援助 - 保育者固有の子育て支援 - (担当：齊藤勇紀)

第15回：まとめとレポート作成 (担当：全教員)

テキスト

1. 『保育を支えるカリキュラムマネジメントの理論と実践』 齊藤勇紀・中野啓明 (編著) . ウェストン, 2020. 750円 (税別)
2. 『幼稚園教育要領解説』 文部科学省, フレーベル館, 2018. 240円 (税別)
3. 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』 内閣府・文部科学省・厚生労働省, フレーベル館, 2018. 350円 (税別)
4. 『保育所保育指針解説』 厚生労働省, フレーベル館, 2018. 320円 (税別)

参考書・参考資料等

『幼児理解に基づいた評価』、文部科学省、2019

学生に対する評価

最終レポート60%、授業回毎のリフレクション30%、学習態度10%

授業科目名： 教育相談(カウンセリングを含む)	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2 単位	担当教員名： 碓井 真史 担当形態：単独
科 目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	・教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		
授業のテーマ及び到達目標 教育相談の重要性を理解し、教育場面におけるカウンセリングの基礎的知識を獲得する。			
授業の概要 教育相談における「相談」とは、個別対応のことである。個別に対応するためには、相手のことを良く知らなければならない。だから、相談における基本は、聴くことである。教育相談における「教育」とは、人格の完成を目指すことであり、つまりその人らしくなることを目指すものである。人にはそれぞれ特徴があり、得意不得意があり、様々な家庭学校環境がある。どのような環境のどのような子供達も、その子らしく幸福に活躍できることを支えるために、またその保護者を支えるために、効果的な方法として教育相談、カウンセリングを学んでいく。			
授業計画 第1回：教育相談とは何か：教育相談、個別対応の意義と必要性 第2回：現代教育の諸問題：不適応と教育現場の問題の心理学 第3回：動機づけ：やる気と無気力の心理学 第4回：発達：親子関係、発達課題、虐待の心理学 第5回：パーソナリティ：自己概念と心の健康 第6回：不登校不登園：予防と対応、保健室等の役割 第7回：いじめ、暴力：防止法と、被害者加害者への対応 第8回：自傷、自殺：子どもの自傷自殺の特徴と予防法 第9回：発達障害と教育相談：実際の支援方法 第10回：問題行動、非行：教育心理学と犯罪心理学の観点から 第11回：チームとしての教育相談：スクールカウンセラーなど他職種、他機関との連携 第12回：カウンセリングの理論：カウンセリングマインドと諸理論の概要 第13回：カウンセリングの技法：実際のテクニック 第14回：構成的グループエンカウンター：理論と演習 第15回：まとめ：質疑応答			
定期試験			
テキスト			

和田万紀編「教育心理学」 弘文社 2014
参考書・参考資料等
特になし。
学生に対する評価
試験90%、小レポート10%

シラバス：教職実践演習

シラバス：保育実践演習		単位数：2単位		担当教員名 領域担当：齊藤 勇紀・山口 恵子 教職担当：中野 啓明	
科 目	教育実践に関する科目				
履修時期	4年次通年	履修履歴の把握(1)	○	学校現場の意見聴取(2)	○
受講者数 Aクラス・23人 Bクラス・22人 (2クラスで実施)					
教員の連携・協力体制 本講義の担当教員は、その他の領域に関する科目及び教職に関する科目の担当者が相互に連携し、実施する。学内の幼稚園教諭養成委員会、新潟市教育委員会との連携・協力体制のもと、担当教員が教職実践演習の内容について精査し、到達目標を達成するための授業計画を立案する。 それぞれの学生の入学からの学習内容、理解度を把握するため「履修カルテ」を作成し、教員としての必要な知識技能を修得したことを確認することとする。					
授業のテーマ及び到達目標 1. 教育・保育に関する科目横断的な学習能力を習得する。 2. 教育・保育に関する現代的課題についての現状分析、考察、検討を行う。 3. 問題解決のための対応、判断方法等について学びを深める。 4. 必修科目(保育実践演習を除く。以下同じ。)及び、選択必修科目の履修状況を踏まえ、自らの学びを振り返り、保育者としての必要な知識・技能を修得したことを確認する。					
授業の概要 保育者として最小限必要な資質能力の全体を明示的に確認し、自己の課題を自覚したり不足している知識や技能等を補充・定着したりすることを通して、教職生活をより円滑にスタートできるようにする。教職課程で学修した事項と、教育に関する現代的課題をテーマとして、2クラスに分かれてグループ討論等による分析、考察、検討を行うことを通して、科目横断的な学習能力を習得したり、問題を解決するための対応や判断方法等についての学びを深めたりする。					
授業計画 第1回：イントロダクション（学習の振り返り、履修カルテ）（合同授業として実施） 第2回：教育・保育の本質・目的（保育者の意義・役割）（担当：Aクラス・中野啓明、Bクラス・齊藤勇紀） 第3回：教育・保育の本質・目的（保育者の職務内容、児童に対する責任、これからの保育所に求められるもの）（担当：Aクラス・中野啓明、Bクラス・齊藤勇紀） 第4回：教育・保育の本質・目的（幼児理解、省察、評価）（担当：Aクラス・中野啓明、Bクラス・齊藤勇紀） 第5回：教育・保育の対象の理解（ケーススタディ：多面的な記録・評価）（担当：Aクラス・中野啓明、Bクラス・齊藤勇紀） 第6回：教育・保育の対象の理解（ケーススタディ：インシデントプロセス法）（担当：Aクラス・中野啓明、Bクラス・齊藤勇紀） 第7回：教育・保育の対象の理解（ケーススタディ：園内研修とケース会議）（担当：Aクラス・中野啓明、Bクラス・齊藤勇紀）					

- 第8回：教育・保育の表現技術（身体表現、音楽表現、造形表現、言語表現）（担当：Aクラス・山口恵子、Bクラス・齊藤勇紀）
- 第9回：教育・保育の表現技術（園内行事の計画・立案）（担当：Aクラス・山口恵子、Bクラス・中野啓明）
- 第10回：教育・保育の表現技術（園行事の実施）（担当：Aクラス・山口恵子、Bクラス・中野啓明）
- 第11回：教育・保育の内容・方法（最新の文献検討：園の計画、教育・保育内容）（担当：Aクラス・中野啓明、Bクラス・齊藤勇紀）
- 第12回：教育・保育の内容・方法（最新の文献検討：乳児保育・1歳以上3歳未満児保育）（担当：Aクラス・中野啓明、Bクラス・齊藤勇紀）
- 第13回：教育・保育の内容・方法（最新の文献検討：特別な支援を必要とする幼児の保育）（担当：Aクラス・中野啓明、Bクラス・齊藤勇紀）
- 第14回：教育・保育の内容・方法（最新の文献検討：園運営、カリキュラムマネジメント）（担当：Aクラス・中野啓明、Bクラス・齊藤勇紀）
- 第15回：個別的課題に対する確認と補充（学習の振り返り、履修カルテ）（合同授業として実施）
- 第16回：教育・保育に関する現代的課題についての現状分析（教育現場の課題：外部講師）
- 第17回：教育・保育に関する現代的課題についての現状分析（教育現場の展望：外部講師）
- 第18回：教育・保育に関する現代的課題についての現状分析（教育現場との協働：グループ討議）（担当：Aクラス・齊藤勇紀、Bクラス・山口恵子）
- 第19回：教育・保育に関する現代的課題についての調査・研究（グループ討議：保育者の専門性）（担当：Aクラス・齊藤勇紀、Bクラス・中野啓明）
- 第20回：教育・保育に関する現代的課題についての調査・研究（事例検討：幼児の理解と援助）（担当：Aクラス・齊藤勇紀、Bクラス・中野啓明）
- 第21回：教育・保育に関する現代的課題についての調査・研究（事例検討：特別支援教育）（担当：Aクラス・齊藤勇紀、Bクラス・中野啓明）
- 第22回：教育・保育に関する現代的課題についての調査・研究（グループ討議：園運営・カリキュラムマネジメント）（担当：Aクラス・齊藤勇紀、Bクラス・中野啓明）
- 第23回：幼児教育分野におけるICTの活用（事例検討）（担当：Aクラス・齊藤勇紀、Bクラス・中野啓明）
- 第24回：幼児教育分野におけるICTの活用（方法論の検討）（担当：Aクラス・齊藤勇紀、Bクラス・中野啓明）
- 第25回：問題解決のための対応・判断（グループ討議：課題抽出）（担当：Aクラス・山口恵子、Bクラス・中野啓明）
- 第26回：問題解決のための対応・判断（グループ討議：課題解決）（担当：Aクラス・山口恵子、Bクラス・中野啓明）
- 第27回：教育に関する現代的課題についての再考察・再検討（担当：Aクラス・山口恵子、Bクラス・中野啓明）
- 第28回：保育者の専門性に関する考察・検討（保育者の役割と倫理、専門性、協働）（担当：Aクラス・山口恵子、Bクラス・齊藤勇紀）
- 第29回：保育者の専門性に関する考察・検討（保育者の専門職的成長、職業観、人生観、キ

キャリア形成) (担当: Aクラス・山口恵子、Bクラス・齊藤勇紀)

第30回: 資質能力の確認・まとめ(学習の振り返り、保育者として必要な知識・技能、履修カルテ) (合同授業として実施)

テキスト

1. 『保育を支えるカリキュラムマネジメントの理論と実践』 齊藤勇紀・中野啓明(編著)・ウエストン, 2020. 750円(税別)
2. 『保育者の実践を支える理論と方法』 齊藤勇紀・岩崎保之編著、ウエストン、2019年、700円(税別)
3. 『幼稚園教育要領解説』 文部科学省, フレーベル館, 2018. 240円(税別)
4. 『保育所保育指針解説』 厚生労働省, フレーベル館, 2018. 300円(税別)
5. 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』 内閣府・文部科学省・厚生労働省, フレーベル館, 2018. 350円(税別)

参考書・参考資料等

適宜、資料を提示する。

学生に対する評価

レポート60%、学習態度20%、ポートフォリオ20%

- 1 履修カルテを作成し、これを踏まえた指導を行う体制が備えられていることを確認し、「○」と記載すること。
- 2 授業計画の立案にあたって教育委員会や学校現場の意見を聞いた場合には「○」と記載すること。そうでない場合は空欄とせず、「×」とすること。